

# 豊川の治水と水辺空間に関する意識調査

報告書（速報版）

2026年5月

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系

国際都市計画研究室

（担当：修士2年 盛田晋平）

## 1. アンケート調査概要

豊川流域では、江戸時代から続く治水の仕組みである「霞堤」が現在も重要な役割を担っている。近年、2023年6月の豪雨被害を契機に、気候変動下での洪水被害軽減と水辺空間の多目的利用をいかに両立させるかが喫緊の課題となっている。

こうした治水施設としての本来の役割に加え、将来の水辺空間に対する意識や利用状況を把握するために、豊川流域の住民を対象としたアンケート調査を実施した。本調査では、対象地域の計17,968世帯にハガキをポストイングし、ウェブサイトを通じて回答を依頼した。アンケート概要を表-1に示す。

表-1 アンケート概要

実施期間	2026年2月25日～2026年4月10日
配布枚数	17,968
有効回答数	1294 (7.2%)
アンケート調査項目	・ 回答者属性
	・ 水害経験と防災意識について
	・ 豊川の利活用の意識について
	・ 霞堤および治水施設について
	・ 遊水地について
	・ 自然環境や生態系について
	・ 地域への関心

---

---

## 「豊川の治水と水辺空間に関する意識調査」ご協力のお願い

---

---

豊川流域にお住まいの皆様へ

このアンケートは、2023年6月の大雨を踏まえて、豊川流域における治水や水辺空間について、地域の皆さまがどのように感じ、何を大切に考えているのかをお聞きすることを目的としています。

近年、洪水への備えとあわせて、水辺をどのように活かしていくかが各地で話題になっています。本調査では、現在の霞堤を含めた豊川のあり方や、将来の水辺空間の可能性について、住民の皆さまの率直なお考えを伺いたいと考えています。

なお、アンケート内でお示しする遊水地などは、あくまで考え方の一例としてお聞きするものであり、整備が決まっているものではありません。また、本調査は大学における研究の一環として実施するもので、特定の行政施策や計画の決定に直接関わるものではありません。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、個人が特定されることは一切ありません。

皆さまからいただいたご意見は、今後の治水と暮らしがよりよい形で両立していくための、基礎的な知見として大切に活用させていただきます。アンケートの回答にかかる時間は10分程度です。ご多忙のところ恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますと幸いです。

**回答期限：2026年4月10日(金)**

(問い合わせ先)

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1  
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 国際都市計画研究室  
修士1年 盛田晋平 (指導教員：小野悠) [morita.shimpei.of@tut.jp](mailto:morita.shimpei.of@tut.jp)

---

---

**Q1 あなたご自身についてお聞きします。**

---

---

**Q1.1** あなたの性別について、あてはまるものを1つお選びください。

1. 女性 2. 男性 3. その他 4. 回答しない

**Q1.2** あなたの年齢について、あてはまるものを1つお選びください。

1. 20歳未満 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳  
5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70~79歳 8. 80歳以上 9. 回答しない

**Q1.3** あなたの家族構成について、あてはまるものを1つお選びください。

1. 1人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 3世帯暮らし 5. その他 ( )

**Q1.4** 現在の主な職業について、あてはまるものを1つお選びください。

1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 農家 5. 漁業 6. パート・アルバイト  
7. 学生 8. 専業主婦・専業主夫 9. 無職(退職・求職中など)  
10. その他 ( ) 11. 回答しない

**Q1.5** 現在お住まいの住宅タイプについて、あてはまるものを1つお選びください。

1. 戸建て(持家) 2. 戸建て(借家) 3. 集合住宅(分譲) 4. 集合住宅(賃貸)  
5. その他 ( ) 6. わからない

**Q1.6** 現在お住まいの地域での居住年数について、あてはまるものを1つお選びください。

1. 1年未満 2. 1~3年 3. 4~5年 4. 6~10年 5. 11~20年 6. 20年以上

---

---

**Q2 水害経験と防災意識についてお聞きします。**

---

---

**Q2.1** 2023年6月の大雨で被害を受けましたか？(複数選択可)

※他の選択肢と同時に選べない選択肢 e. 被害は受けていない

- a. 住宅への被害(浸水など) b. 道路・交通への被害(通行止め・移動制限など)  
c. 農地・田畑への被害 d. ライフラインへの被害(電気・ガス・水道・通信など)  
e. 被害は受けていない f. その他(自由記述: \_\_\_\_\_)

**Q2.2** 現在お住まいの地域で、台風や豪雨による洪水被害の危険性をどの程度感じますか？

1. 強く感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

**Q2.3** 洪水や豪雨時に備えて、避難行動や防災対策についてどの程度準備ができていると思いますか？

1. 十分に準備できている 2. ある程度準備できている 3. あまり準備できていない 4. 全く準備できていない

**Q2.4** 洪水や豪雨時などの災害情報を、主にどの手段で把握しますか？(複数選択可)

- a. テレビ b. スマートフォンの防災・天気アプリ c. SNS(XやInstagramなど)  
d. 防災無線・町内放送 e. 家族・知人からの連絡 f. ラジオ  
g. その他(自由記述: \_\_\_\_\_)

**Q2.5** 地域の防災活動(自主防災組織、防災訓練、ボランティア活動など)への参加状況について、最もあてはまるものをお選びください。

1. 積極的に参加している 2. 参加している 3. ほとんど参加できていない 4. 全く参加できていない

---

---

**Q3 豊川の利活用の意識についてお聞きします。**

---

---

**Q3.1** 豊川の河川敷・堤防・水辺空間を、どの程度利用していますか？

1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. まったく利用しない

**Q3.2** 豊川やその周辺空間を利用する主な目的として、あてはまるものをお選びください。(複数選択可)

※他の選択肢と同時に選ばない選択肢 **i. 利用していない**

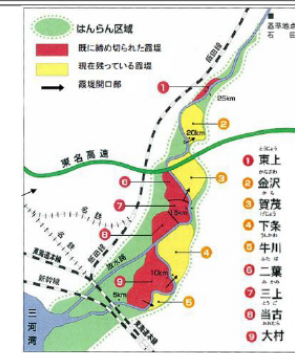
- a. 散歩・ジョギング b. 自然観察(生き物・植物など) c. 休憩・気分転換 d. 子どもと過ごす  
 e. 農作業・農地管理 f. 釣り・川遊び g. バーベキュー h. 通勤・通学 i. 利用していない  
 j. その他(自由記述: \_\_\_\_\_)

**Q3.3** 豊川に対して、親しみや愛着を感じていますか?

1. とても感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

#### Q4 霞堤および治水施設についてお聞きします。

※豊川には、1700年代から洪水対策として霞堤(かすみてい)と呼ばれる治水の仕組みが用いられてきました。霞堤とは、堤防の一部にあえて切れ目(開口部)を設け、洪水時に水を一時的に逃がすことで、下流の市街地への洪水被害を軽減する不連続な堤防です。かつて豊川には9か所の霞堤がありましたが、豊川放水路の完成などにより現在は、牛川・下条・賀茂・金沢の4か所が残っています。



現在の霞堤の開閉状況  
 出典: 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所『豊川の霞堤』(2013.10.31)

**Q4.1** 霞堤を知っていましたか?

1. 仕組みや役割も含めて知っていた 2. 名前や存在は聞いたことがあった 3. あまり知らなかった  
 4. 知らなかった

**Q4.2** 霞堤が、江戸時代から続く豊川の治水の仕組みであることを知っていましたか?(Q4.1で1.2.3を答えた方のみ回答)

1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

**Q4.3** 霞堤について、あなたの考えにあてはまるものをお選びください。(複数選択可)

※他の選択肢と同時に選ばない選択肢 **h. 特に価値は感じない**

- a. 洪水被害の軽減に役立っている b. 地域の自然環境や生態系を支えている c. 歴史的・文化的に価値がある  
 d. 身近で利用しやすい空間である e. 土や緑のある景観が好ましい f. 学びや環境教育の場として活用できる  
 g. 貴重な緑地空間として重要である h. 特に価値は感じない

**Q4.4** 霞堤は、地域にとって総合的に見て必要な治水施設だと思いますか?

1. とても必要である 2. やや必要である 3. あまり必要ではない 4. 全く必要ではない

**Q4.5a** 霞堤について、あなたの生活や地域への影響として最も近いものを1つ選んでください。

1. 霞堤があることで、洪水被害が減り直接的に助かっている(自宅・家族・農地など)  
 2. 霞堤があることで、洪水被害が減り間接的に助かっている(道路・公共施設・地域全体など)  
 3. 霞堤があることで、洪水時に水が入りやすくなり損害を受けている/受ける不安がある  
 4. 影響があるかどうか、よくわからない  
 5. 特に意識したことがない/関心がない

**Q4.5b** 上で3を選んだ方:どのような場面ですか?

- a. 自宅周辺の浸水 b. 農地被害 c. 道路通行への影響 d. 排水不良 e. その他(自由記述: \_\_\_\_\_)

**Q5 遊水地についてお聞きします。**

※「遊水地」とは、洪水時に一時的に水をためて下流の水位上昇を抑える施設で、平常時には公園・広場・自然観察などに利用できる空間を想定しています。



遊水地のイメージ (事例)  
出典：庄内緑地 (2026.1.28) 8

**Q5.1** 遊水地という言葉を知っていましたか？

1. 仕組みや役割も含めて知っていた 2. 名前や存在は聞いたことがあった 3. あまり知らなかった  
4. 全く知らなかった

**Q5.2** 豊川沿いに新たな遊水地を整備することは、地域にとって必要だと思いますか？

1. とても必要だと思う 2. やや必要だと思う 3. あまり必要ではないと思う 4. 全く必要ではないと思う

**Q5.3** 豊川沿いに新たな遊水地が整備された場合、あなたは利用したいと思いますか？

1. ぜひ利用したい 2. やや利用したい 3. あまり利用したいと思わない 4. まったく利用したいと思わない

**Q5.4** 豊川に新たな遊水地が整備される場合、どの程度の距離であれば利用しやすいと感じますか？

1. 徒歩で行ける距離 2. 自転車で行ける距離 3. 車で行く距離 4. 距離はあまり気にしない

**Q5.5** 豊川に新たな遊水地が整備される場合、新たな遊水地に期待する機能として、あてはまるものをお選びください。(複数選択可)

- a. 散歩やジョギングがしやすい空間 b. のんびりと休憩・くつろぎができる広場  
c. 水辺に近づいて過ごせる場所 (水遊び・水辺観察など) d. 生き物や植物を観察できるエリア  
e. 子どもが遊びながら学べる場 f. 環境学習・教育に活用できる場 (学校・親子向け等)  
g. イベントや人との交流に使える空間 h. 駐車場 i. 特に期待する機能はない  
j. その他 (自由記述：\_\_\_\_\_)

**Q5.6** 新たな遊水地を整備する場合、次の2つの要素のうち、あなたがより重視するものをお答えください。各行について、あてはまるものをそれぞれ選択してください。

A	Aを重視	Aをやや重視	Bをやや重視	Bを重視	B
(例) 治水機能が十分ある	1	②	3	4	身近に行ける
治水機能が十分ある	1	2	3	4	身近に行ける
治水機能が十分ある	1	2	3	4	ゆったりとくつろげる
治水機能が十分ある	1	2	3	4	自然を感じられる
治水機能が十分ある	1	2	3	4	景観が美しい
身近に行ける	1	2	3	4	ゆったりとくつろげる
身近に行ける	1	2	3	4	自然を感じられる
身近に行ける	1	2	3	4	景観が美しい
ゆったりとくつろげる	1	2	3	4	自然を感じられる
ゆったりとくつろげる	1	2	3	4	景観が美しい
自然を感じられる	1	2	3	4	景観が美しい

---

---

**Q6 自然環境や生態系全般についての考えをお聞きします。**

---

---

**Q6.1** 身近な川や水辺における生き物（鳥・魚・植物など）を守ることは大切だと思いますか？

1. 強くそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. まったくそう思わない

**Q6.2** 洪水対策とあわせて、自然環境や生態系に配慮した川づくりが必要だと思いますか？

1. 強くそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. まったくそう思わない

---

---

**Q7 お住まいの地域についてお聞きします。**

---

---

**Q7.1** 現在お住まいの地域に愛着を感じますか？

1. とても感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

**Q7.2** これからも、この地域に住み続けたいと思いますか？

1. 強くそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. まったくそう思わない

**Q7.3** この地域で、豊川や霞堤に関する活動や学習（清掃、防災訓練、行事など）に参加したことがありますか？

1. ある 2. ない 3. わからない／覚えていない

---

---

**Q8 自由記述欄**

---

---

**Q8.1** 豊川やその周辺の水辺空間について、これまでのご経験や、今後大切にしたいと感じていることがあれば、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

クエスタント版 ↓

回答は正常に送信されました  
ご協力ありがとうございました。

アンケート結果の速報版は、2026年5月頃に下記リンク先で公開予定です。

豊橋技術科学大学 国際都市計画研究室 HP

<https://www.ono-unit.com/report-1>

## 2.アンケート調査結果

### (1)回答者の属性

回答者の性別は、男性が60.8%、女性が38.5%であり、男性の割合が高い(図-1)。年齢構成については、50代が24.7%と最も多く、次いで60代が24.4%、70代が17.5%、40代が14.8%である。このことから、回答者は中高年層が中心であることがわかる。一方、20歳未満は0.7%、80歳以上は3.0%、20代は4.2%にとどまり、若年層および超高齢層の回答は少ない(図-2)。

家族構成については、「夫婦と子ども」が36.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.7%、「1人暮らし」が17.2%である(図-3)。

職業については、「会社員」が37.9%と最大の割合を占め、次いで「無職(退職・求職中など)」が16.1%、「パート・アルバイト」が12.4%である(図-4)。

住居形態については、「戸建て(持家)」が79.8%と大部分を占め、多くの住民が持ち家に居住している(図-5)。

現在の住居における居住年数は、「20年以上」が58.9%と過半数を占め、次いで「11~20年」が16.7%、「6~10年」が9.6%である。以上の結果から、当該地域には現在の住居に長期間定住している住民が多いことが明らかである(図-6)。

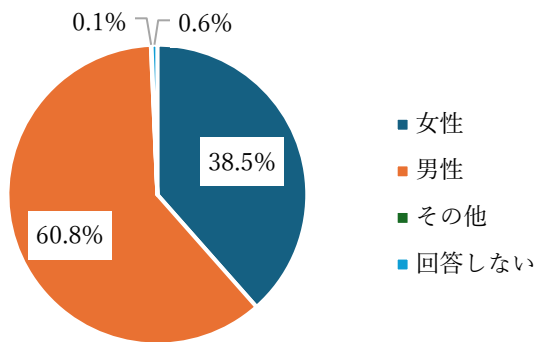


図-1 性別 (n=1294)

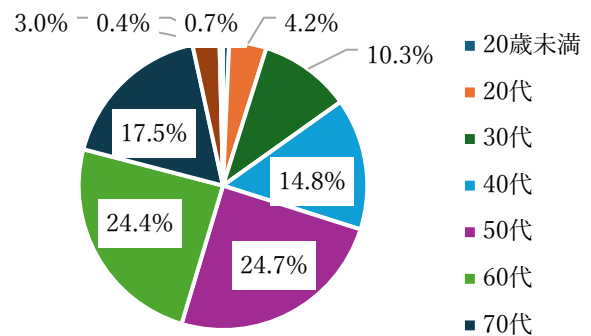


図-2 年齢 (n=1294)

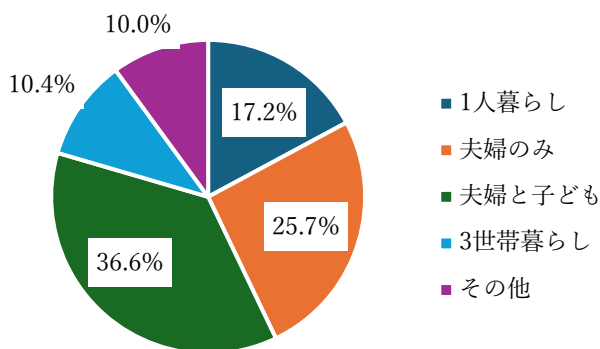


図-3 家族構成 (n=1294)

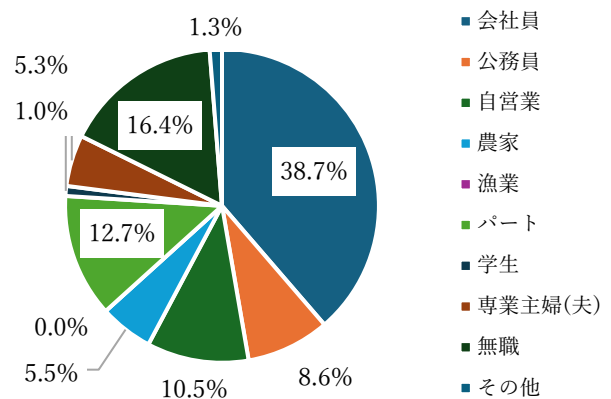


図-4 職業 (n=1294)

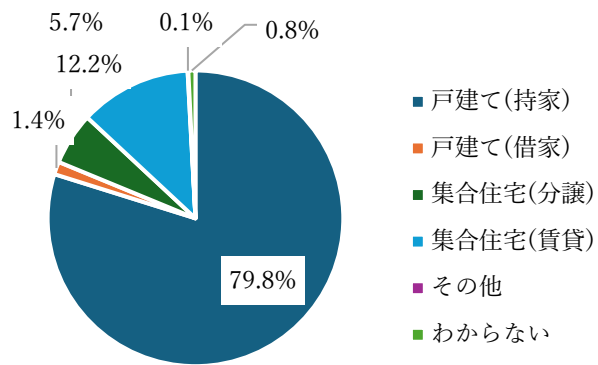


図-5 住居種類 (n=1294)

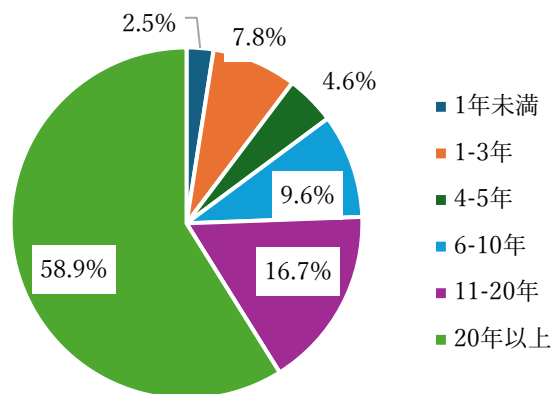


図-6 居住年数 (n=1294)

## (2) 水害経験と防災意識

2023年6月の大雨による被害状況は、「被害は受けていない」が56.5%と過半数を占める。一方で、具体的な被害内容としては「道路・交通への被害（通行止め・移動制限など）」が34.8%と最も多く、次いで「農地・田畑への被害」が10.0%、「住宅への被害（浸水など）」が6.4%である（図-7）。

現在居住している地域における洪水被害の危険性については、「やや感じる」が37.4%、「強く感じる」が28.0%であり、これらを合わせると住民の65.4%が危険性を認識している（図-8）。

避難行動や防災対策の準備状況に関しては、「十分に準備できている」は1.8%、「ある程度準備できている」は36.6%にとどまる。対して、「あまり準備できていない」が48.8%、「全く準備できていない」が12.8%であり、全体の約6割が準備不足の状態にあることが伺える（図-9）。

災害情報の主な把握手段については、「スマートフォンの防災・天気アプリ」が85.9%と突出しており、次いで「テレビ」が72.3%、「SNS（XやInstagramなど）」が23.6%、「防災無線・町内放送」が22.6%である（図-10）。

地域の防災活動（自主防災組織、防災訓練、ボランティア活動など）への参加状況については、「積極的に参加している」が4.1%、「参加している」が21.9%である。その一方で、「ほとんど参加できていない」が38.3%、「全く参加できていない」が35.6%にのぼり、参加できていない層が全体の7割以上を占めている（図-11）。

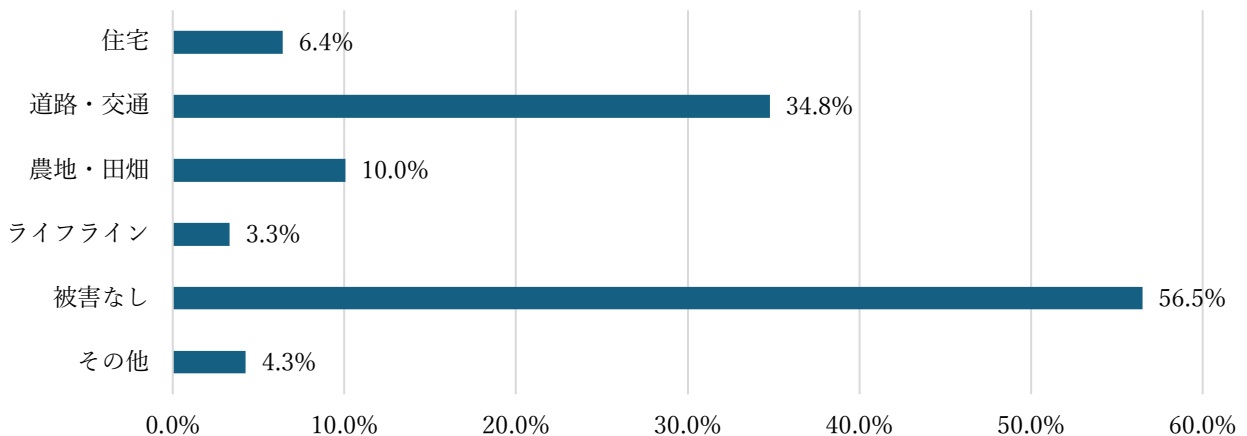


図-7 2023年6月の大雨での被害（複数回答）（n=1492）

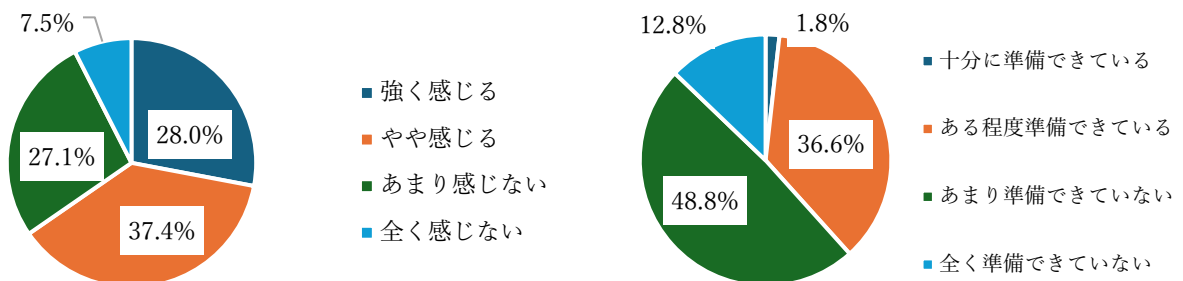


図-8 洪水被害の危険性の認識（n=1294）

図-9 災害時の避難行動や防災対策の準備（n=1294）

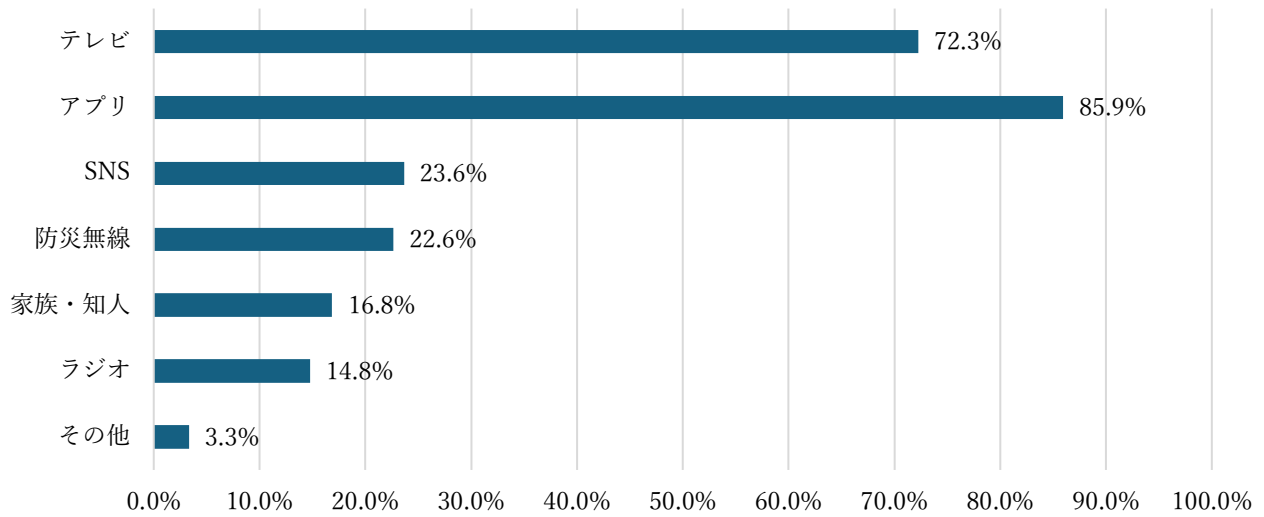


図-10 災害情報の主な把握手段（複数回答）（n=3098）

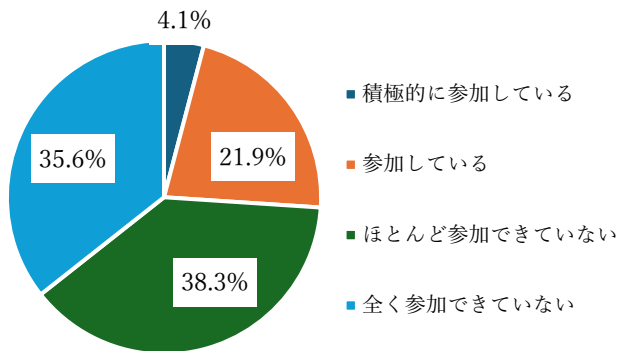


図-11 地域の防災活動への参加（n=1294）

### (3) 豊川の水辺空間の利用状況と意識

豊川の河川敷・堤防・水辺空間の利用頻度については、「あまり利用しない」が31.9%と最も多い。次いで「時々利用する」が25.7%、「まったく利用しない」が24.8%、「よく利用する」が17.5%である。「よく利用する」と「時々利用する」を合わせた利用意向のある層は42.9%であり、一定数の住民が日常的に水辺空間を利用している（図-12）。

豊川やその周辺空間を利用する主な目的は、「散歩・ジョギング」が41.0%と突出しており、最大の割合を占める。次いで「利用していない」が29.4%、「休憩・気分転換」が17.2%、「通勤・通学」が14.9%、「自然観察（生き物・植物など）」が11.2%と続く（図-13）。

豊川に対する親しみや愛着については、「とても感じる」が46.4%、「やや感じる」が35.5%である。これらを合わせると全体の約80%以上の住民が豊川に対して愛着を抱いている。対して、「あまり感じない」は14.3%、「全く感じない」は3.7%に留まっている（図-14）。

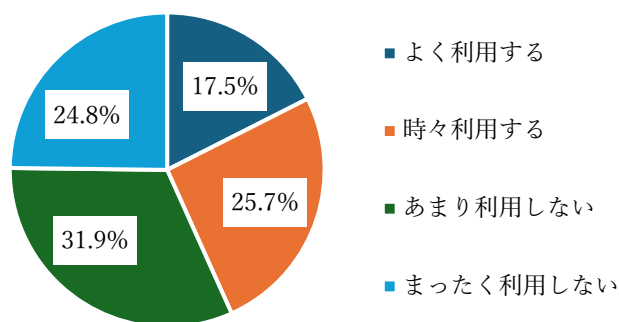


図-12 豊川の河川敷・堤防・水辺空間の利用頻度（n=1294）

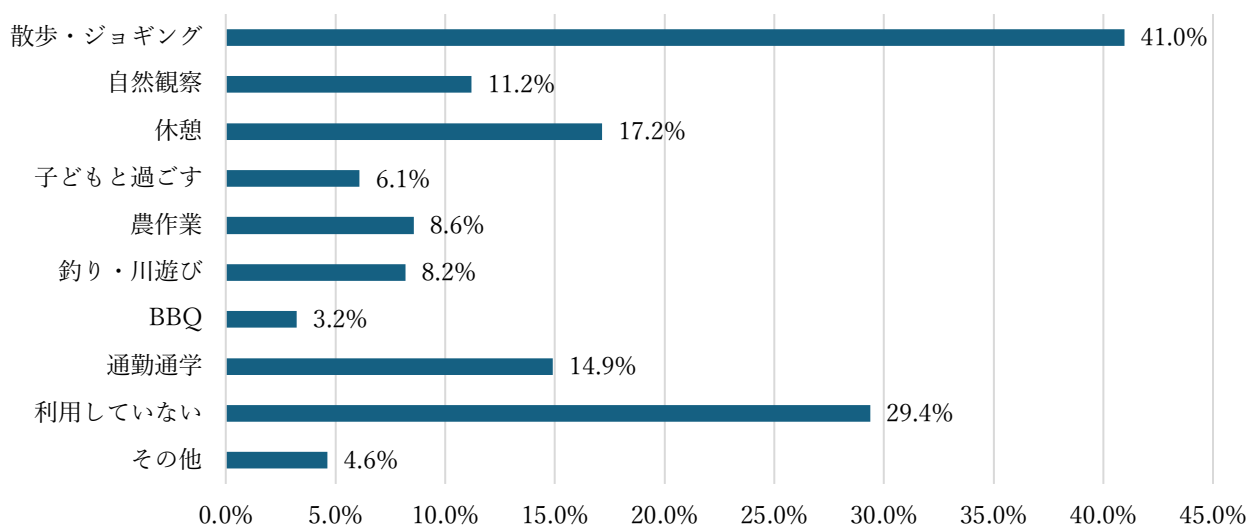


図-13 豊川やその周辺空間を利用する主な目的（複数回答）（n=1868）

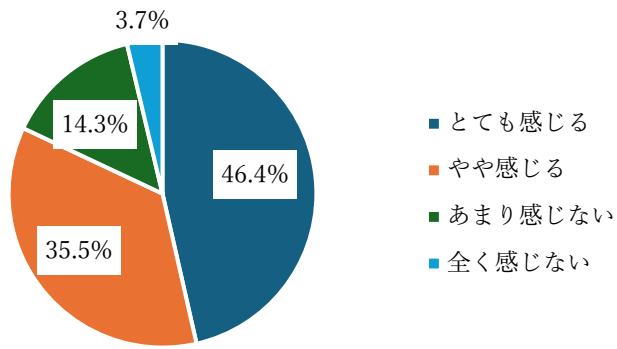


図-14 豊川に対する親しみや愛着 (n=1294)

#### (4) 霞堤に関する意識

霞堤の認知度については、「仕組みや役割も含めて知っていた」が45.4%と最も多く、次いで「知らなかった」が26.6%、「名前や存在は聞いたことがあった」が17.1%である。「仕組みや役割も含めて知っていた」と「名前や存在は聞いたことがあった」を合わせた認知層は62.5%に達している（図-15）。

霞堤が江戸時代から続く豊川の治水の仕組みであることを「知っている」と回答した者は50.9%、「聞いたことはある」は25.2%であった（図-16）。

霞堤についての考え・印象については、「洪水被害の軽減に役立っている」が63.4%と過半数を占めて最も多い。次いで「歴史的・文化的に価値がある」が29.8%、「地域の自然環境や生態系を支えている」が25.1%、「土や緑のある景観が好ましい」が17.2%である。これにより、治水機能としての役割のみならず、歴史的・環境的な価値を評価している住民も一定数存在することが伺える（図-17）。

霞堤が地域にとって総合的に必要な治水施設であるかという問いに対しては、「とても必要である」が42.8%、「やや必要である」が37.9%となり、これらを合わせた80.7%がその必要性を認識している（図-18）。

霞堤が自身の生活や地域へ与える影響については、「影響があるかどうか、よくわからない」が32.2%と最多であった。次いで道路や公共施設、地域全体といった広域的な被害が軽減されることで「霞堤があることで、洪水被害が減り間接的に助かっている（道路・公共施設・地域全体など）」が29.4%、「霞堤があることで、洪水時に水が入りやすくなり損害を受けている／受ける不安がある」が15.5%、自宅や家族、農地といった自身の身近な範囲の被害が抑えられることで「霞堤があることで、洪水被害が減り直接的に助かっている（自宅・家族・農地など）」が12.8%である。霞堤の恩恵を実感している層がいる一方で、影響を具体的に把握していない層や、浸水への不安を抱える層も存在している実態が明らかとなった（図-19）。

「霞堤があることで、洪水時に水が入りやすくなり損害を受けている／受ける不安がある」と答えた人の被害の種類については、「自宅周辺の浸水」が48.5%と最多であり、次いで「道路通行への影響」が20.5%、「農地被害」が18.0%である。（図-20）

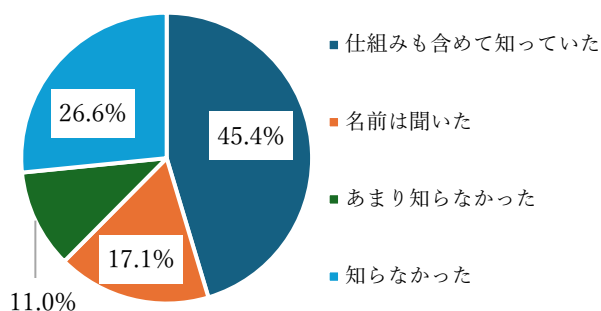


図-15 霞堤の認知度 (n=1294)

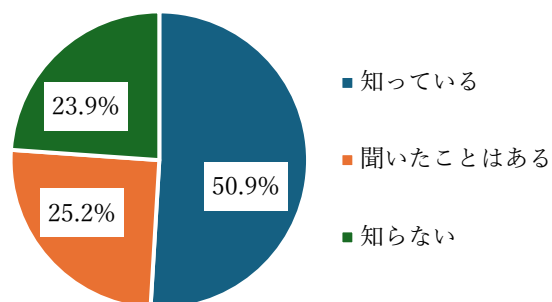


図-16 霞堤の歴史や役割の認知度 (n=950)

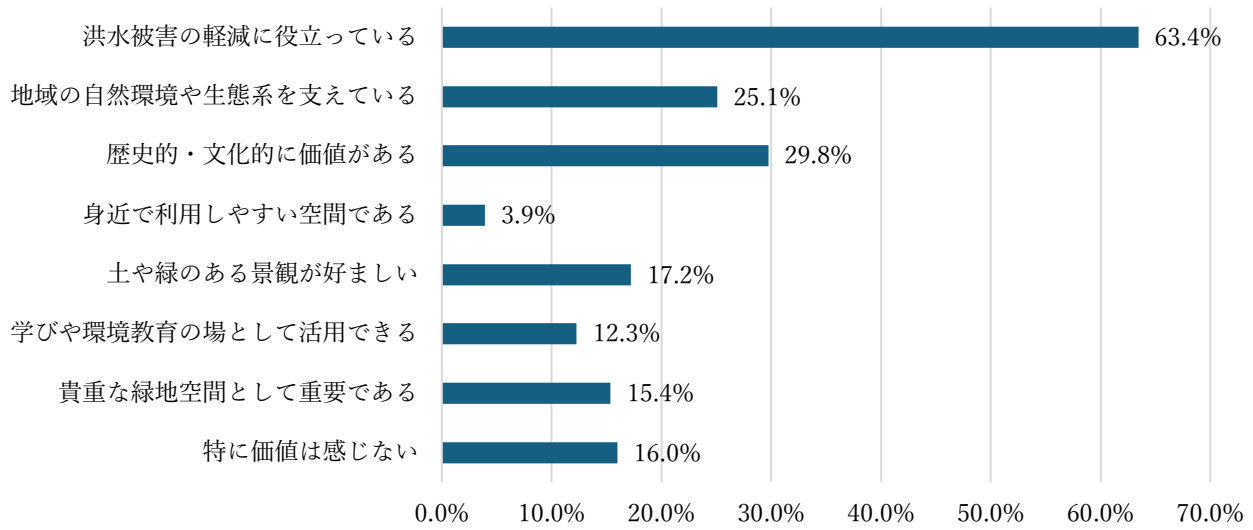


図-17 霞堤についての考えや印象（複数回答）（n=2370）

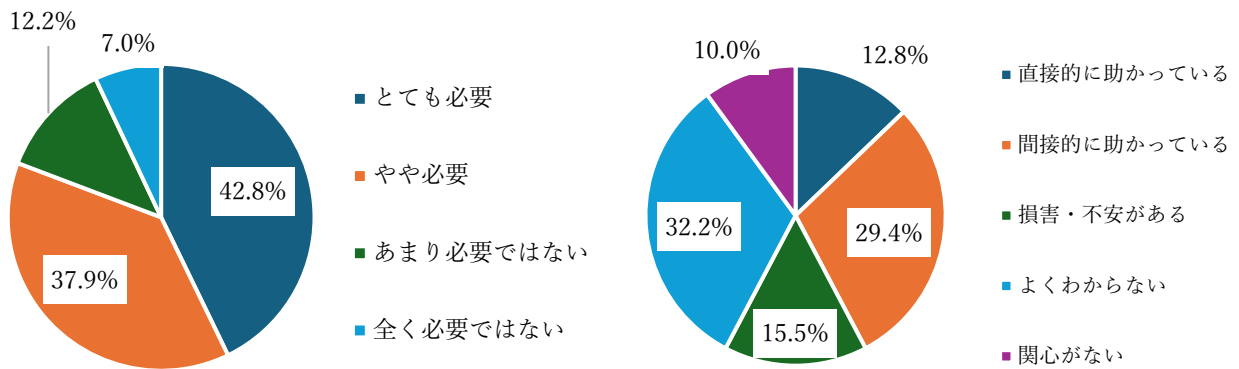


図-18 霞堤の治水施設としての必要性  
(n=1294)

図-19 霞堤の自身の生活や地域への影響  
(n=1294)

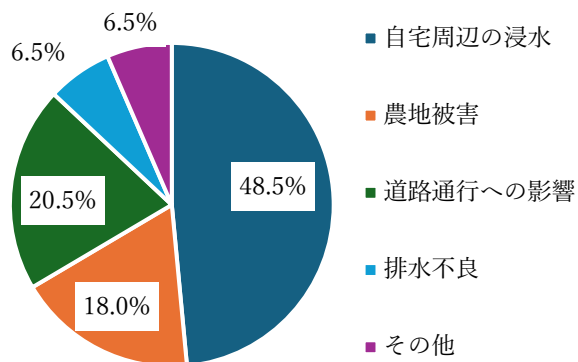


図-20 霞堤による被害の種類（n=200）

## (5) 新たな遊水地に関する意識とニーズ

遊水地の認知度については、「全く知らなかった」が28.2%と最多であり、次いで「仕組みや役割も含めて知っていた」が24.9%、「名前や存在は聞いたことがあった」が24.4%、「あまり知らなかった」が22.5%である。認知している層とそうでない層がほぼ均等に分かれる結果となった(図-21)。

豊川における新たな遊水地の整備の必要性については、「とても必要だと思う」が42.7%、「やや必要だと思う」が41.2%であり、これらを合わせた83.9%が整備を必要と認識している(図-22)。

整備後の利用意向については、「やや利用したい」が44.9%、「ぜひ利用したい」が31.2%であり、合計76.0%が肯定的な姿勢を示している(図-23)。

利用しやすい距離については、「徒歩で行ける距離」が31.0%と最も多く、次いで「自転車で行ける距離」が26.4%であり、生活圏内での身近な立地を望む傾向が伺える(図-24)。

新たな遊水地に期待する機能は、「のんびりと休憩・くつろぎができる広場」が58.2%、「散歩やジョギングがしやすい空間」が56.4%と過半数を占める。次いで「水辺に近づいて過ごせる場所(水遊び・水辺観察など)」が36.9%、「子どもが遊びながら学べる場」が36.0%である。これは、治水機能のみならず、日常的なりフレッシュや自然学習の場としての役割が強く期待されていることを示している(図-25)。

遊水地整備において重視する要素について、「治水機能が十分ある」「身近に行ける」「ゆったりとくつろげる」「自然を感じられる」「景観が美しい」の5項目を用いた一対比較で回答を行った。それぞれの回答は「非常に重視」「重視」「やや重視」を合算した数値で比較を行う。その結果、「治水機能が十分ある」という項目が、他のすべての要素に対して重視されていることを示した。具体的には、「景観が美しい」「ゆったりとくつろげる」に対して83.6%、「身近に行ける」に対して83.0%、「自然を感じられる」に対して82.5%が治水機能を重視すると回答しており、いずれも8割以上の支持を得ている。(図-26)

治水機能以外の4項目間での比較では、「身近に行ける」がすべての項目に対して重視されている。具体的には、「ゆったりとくつろげる」に対して57.5%、「景観が美しい」に対して56.6%、「自然を感じられる」に対して56.4%の割合で重視されている。次いで、「ゆったりとくつろげる」が「景観が美しい」に対して60.4%、「自然を感じられる」に対して52.9%(アンケートの不備により、霞域は除く)の割合で重視される結果になった。最後に、「自然を感じられる」は「景観が美しい」に対して63.4%の割合で重視される結果となった(図-26)。

以上の一対比較の結果から、住民が遊水地に求める機能の優先順位は、第一に「治水機能」であり、次いで「身近に行ける」「ゆったりとくつろげる」「自然を感じられる」の順となり、「景観が美しい」の優先度が相対的に最も低いという階層構造が明らかとなった。住民は、視覚的な美しさよりも、治水施設としての安全性を大前提とした上で、アクセスの良さや過ごしやすさといった実用的な利用価値を高く評価していると言える(図-26)。

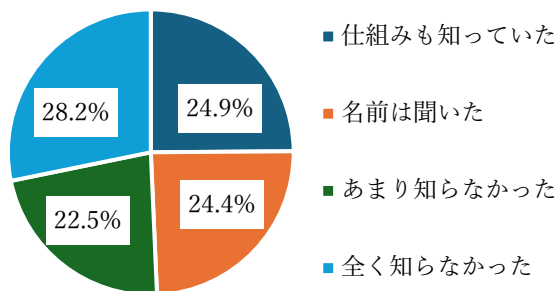


図-21 遊水地の認知度 (n=1294)

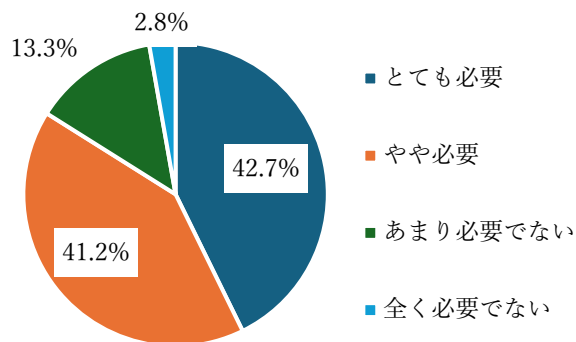


図-22 豊川の新たな遊水地の整備の必要性 (n=1294)

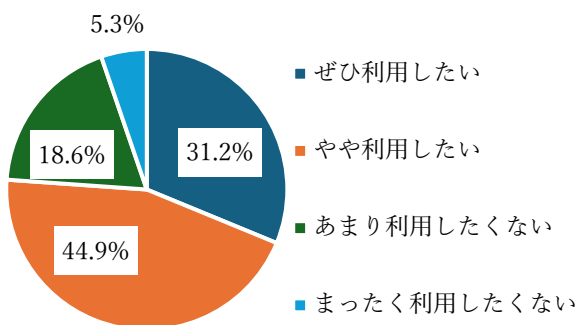


図-23 遊水地が整備された場合の利用意向 (n=1294)

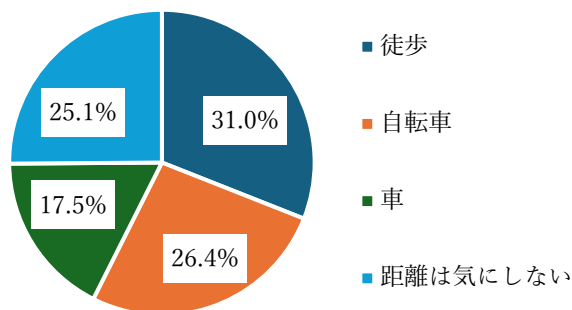


図-24 遊水地を利用しやすい距離 (n=1294)

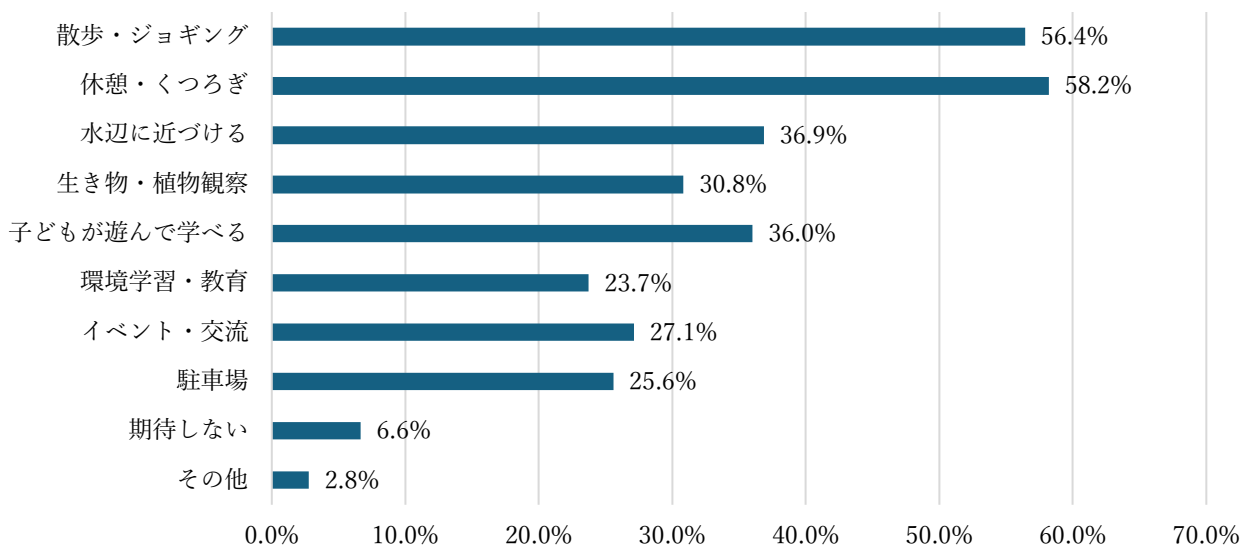


図-25 新たな遊水地に期待する機能 (複数回答) (n=3936)

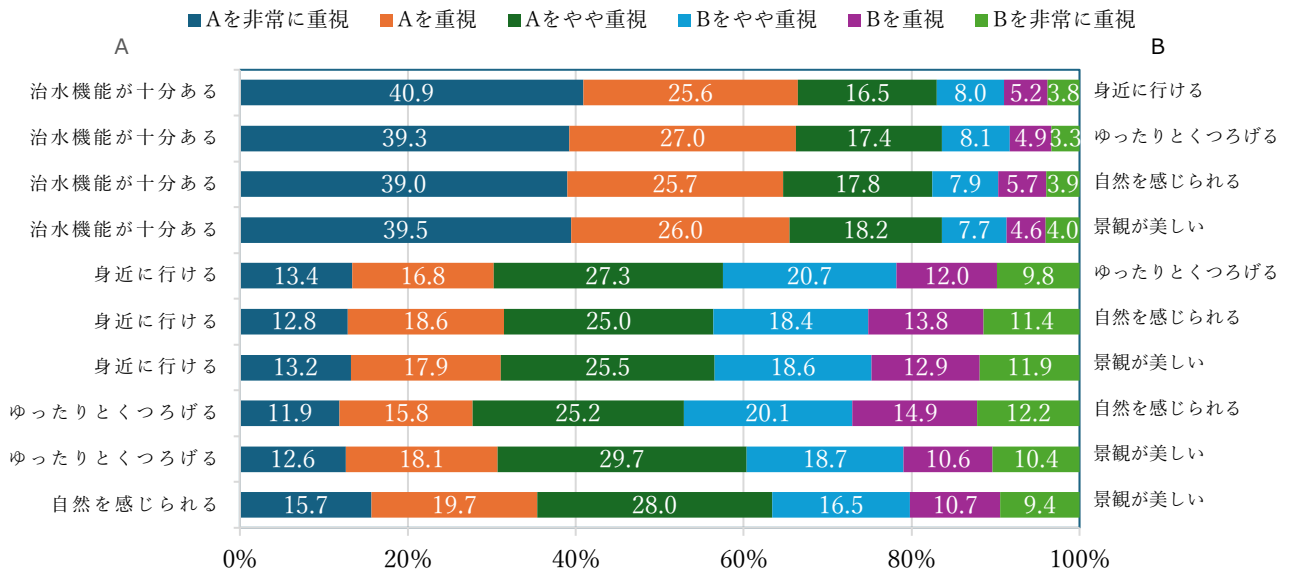


図-26 親水空間に求める要素の優位性

## (6) 環境保全と川づくりへの意識

身近な河川や水辺における生物（鳥・魚・植物等）を保護することの重要性については、「強く思う」が67.4%と大部分を占める。次いで「やや思う」が30.3%であり、これらを合わせた97.7%が水辺の自然環境保護を重要視している（図-27）。「あまりそう思わない」は1.8%、「まったくそう思わない」は0.5%に留まった。

また、洪水対策と並行して自然環境や生態系に配慮した川づくりが必要であるかという問いに対しては、「強く思う」が63.6%、「やや思う」が32.9%であった。これらを合わせた96.5%にのぼる住民が、治水による安全性の確保のみならず、生態系配慮を両立させた河川整備を強く求めていることが伺える。一方で、「あまりそう思わない」は2.7%、「まったくそう思わない」は0.8%であった（図-28）。

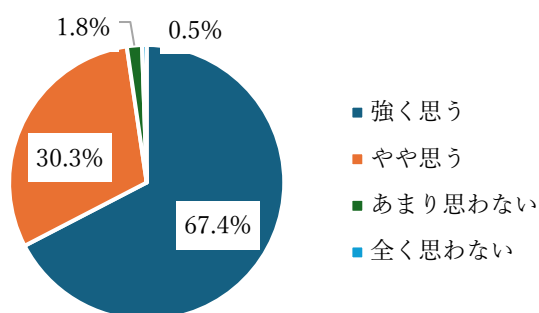


図-27 身近な川や水辺の生態系保護の大切さ  
(n=1294)

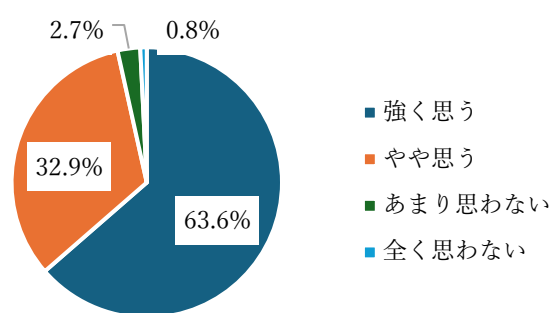


図-28 自然環境や生態系に配慮した川づくりの必要性  
(n=1294)

## (7) 地域への愛着と活動

現在居住している地域への愛着については、「とても感じる」が50.8%と過半数を占め、次いで「やや感じる」が38.6%である。これらを合わせた肯定的な回答は89.5%に達し、約9割の住民が地域に対して強い愛着を抱いていることがわかる。一方で、「あまり感じない」は8.5%、「全く感じない」は2.1%に留まっている（図-29）。

今後の定住意向については、「強く思う」が49.8%、「やや思う」が38.0%であり、合計で87.8%の住民が継続的な居住を希望している（図-30）。「あまり思わない」は10.0%、「まったく思わない」は2.2%であった。

当該地域における、豊川や霞堤に関する活動や学習（清掃、防災訓練、行事等）への参加経験については、「ない」が62.6%と過半数を占める。対して「ある」と回答した者は27.3%、「わからない／覚えていない」は10.1%であった。地域への愛着や定住意向が極めて高い水準にある一方で、具体的な活動や学習への参加経験を有する層は3割弱に留まっている。この結果から、住民の意識を具体的な行動に結びつけるための参加機会の創出や、周知の強化といった課題が明らかとなった（図-31）。

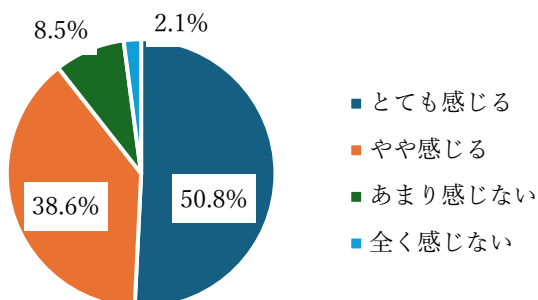


図-29 現在住んでいる地域への愛着 (n=1294)

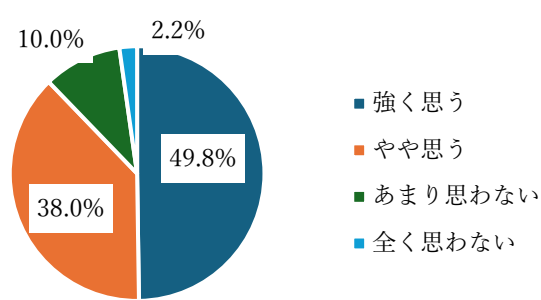


図-30 定住意向 (n=1294)

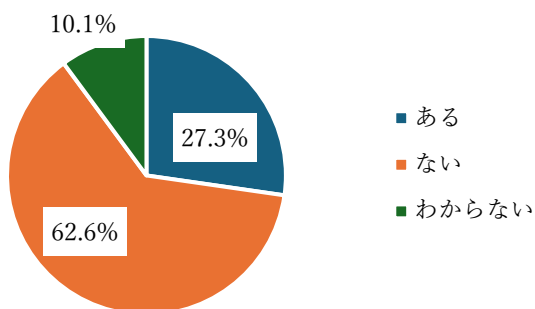


図-31 豊川や霞堤に関する活動や学習の参加 (n=1294)

### 3. まとめ

本調査では、豊川流域の住民を対象に、既存の治水施設である霞堤や新たな遊水地に関するアンケート調査を行い、豊川の水辺空間に対する意識や利用実態、および今後の整備に求められるニーズを明らかにした。

分析の結果、豊川に対する親しみや愛着を感じている割合は81.9%と非常に高く、同河川が日常的に地域資源として親しまれていることが確認された。防災面における必要性に関しては、江戸時代から続く伝統的な治水システムである霞堤について80.7%が「必要である」と回答し、さらに新たな遊水地の整備に関しても83.9%が必要性を認識していることが示された。以上のことから、豊川周辺の住民にとって、水辺空間は憩いの場として親しまれていると同時に、治水施設としての必要性が極めて高く認識されていることが明らかとなった。

新たな遊水地に求める機能の優先度を一対比較によって分析した結果、住民の明確なニーズの階層構造が浮き彫りとなった。大前提として「治水機能」が他のすべての親水機能に対して8割以上の支持を集め、圧倒的に重視されており、水辺空間における「安全性の確保」が最優先事項であることが再確認された。さらに、治水以外の親水空間としての機能間の比較においては、「景観が美しい」や「自然を感じられる」といった視覚的・環境的な要素よりも、「身近に行ける（アクセスの良さ）」や「ゆったりとくつろげる（滞在性）」といった、実用的かつ日常的な利用価値が上位に位置づけられた。この結果から、住民は単なる修景としての水辺ではなく、確実な治水機能を有した上で、生活圏域からアクセスしやすい「安全で身近な居場所」としての空間を求めていると考察できる。

最後に、自由記述の設問においては、治水への不安や水辺空間への期待など、多岐にわたる意見が寄せられた。これにより、住民の豊川への関心の高さが改めて示されるとともに、地域における確実な治水と日常的な水辺利用の両立を図ることの重要性が再認識された。

#### 4. 自由記述欄

- ・ 昨年5月に引っ越し、朝倉川の水辺の緑の回廊があり、川沿いの道を楽しんでいます、こういう治水が増えてほしいです。
- ・ シジミが取れるのは楽しい BBQ できる場所があると嬉しい
- ・ 地域の安全
- ・ 今後、大地震が来ることが推測されこの対策を至急実施する事が重要と考えます。この主目的をベースに遊興地を考慮して欲しい。
- ・ 大きな被害が出ない、多少の被害なら許容できるかと思います。
- ・ 自然と触れ合え、豊川で水遊びを体験できる場所は重要だと思います。幼少期から自然と触れ合えることは大人へと成長するにも大切に思います。
- ・ 治水対策とともに豊川が身近に感じられる川になると良いと思います。水質も良いのでラフティングやボート等の遊びもあると良いのでは。バーベキュー場も整備する。自然と調和しながら上記の施設を作って頂けると良いと思います。
- ・ 幼少期から生き物が好きで、よく川や池で生き物観察をしていました！現在はニホンイシガメを飼育しています。豊川の在来種が今後も生きていける環境を維持すること、外来種が及ぼす影響について学ぶことが大切だと思います。防災訓練は自分の職場がある校区しか参加したことがなかったので、次年度は自分の住む校区の訓練も参加したいと思いました。
- ・ 自然を侮らず生き物や木々を大切に 豊川も大切に共存していけたら良いと思います
- ・ 周辺のゴミ等の環境問題
- ・ 水の大切さを普段からもっと感じて生活しないといけない！
- ・ 豊川に愛着がわいて、郷土愛のような象徴になれば良いなと思います。
- ・ 自然に近い形で
- ・ 自然も大切だが、洪水被害対策をまずは第一に実行して欲しい。
- ・ 放水路より上流の堤防けっかいが、気がかり。
- ・ 水量の確保
- ・ 100年先を考えて、
- ・ 整備後の維持していくのが大切だと思います
- ・ 人が集まるところにはゴミが出ると思う。美しい水辺空間であれば良いと思います。
- ・ 豊川やその周辺の水辺空間は、洪水リスクと共に生きてきた地域の知恵が凝縮された場だと感じています。霞堤や遊水地は単なる治水施設ではなく、下流域を守るために「あえて水を受け入れる」仕組みであり、今後は安全性を前提に、公園や湿地、生態系保全、環境学習、さらには再生可能エネルギー活用など、多機能な空間として価値を重ねていく視点が重要です。災害時と平常時を切り替える設計思想を共有し、東三河全体の地域全体で水と共存する文化を育てていくことを大切にしたいと思います。
- ・ 台風、洪水後に砂浜（吉前町）に色々なゴミが漂着しそのままの状態です。また台風、洪水等が来るとその上に堆積し続けています。掘り起こせばゴミだらけです。台風、洪水後には掃除をする等の活動が無いのは残念です。
- ・ 豊川水系で、治水対応で失敗した事例を学術的側面から検証した勉強会を開催してください。

- ・ 昔のように堤防に桜の木を植えて欲しい！ ピクニックの出来るようになるとよいな～。
- ・ 豊川沿いで花火があつて良かった 露店があるともっと活気づくのでは 駐車場も広くできそう
- ・ 町内で水害に合った家があり、その方の気持ちを思うと、霞堤は、閉じてもらいたいとおもいます。
- ・ 豊橋市内でも豊川から離れた地域に住んできたので、あまり切実に感じたことはないのですが、2023年に死者が出たのは驚きました。これからは命を落とすことが起きないようにって欲しいと思います。研究頑張って下さい。
- ・ 豊川で溺れました。前日にスイミングスクールで服を着て泳ぐ訓練をしていなかったら死んでたと思います。普段の豊川ですらそんな危険性がある為少しの水でも子供は溺れて死にます。特に今プールの授業が削られすぎている上にスイミングスクールも近場に無くなったのでとても危機意識があります。看板も無いですし…。共働きも増えて子供の面倒も近くでは無く遠くからスマホをいじりながらの親が増えたので整備後に“市のせい”にならない事を心配しています。また、今後気候変動と共に豪雨が増えると思うので現在の堤防では決壊する危険性が高いです。(松葉校区ですが昔に決壊したそうなので現在はもっと危険を感じています) 高台に逃げたくても松葉小学校ですら高いところがありません。どこに避難しろというのか障害者の私には理解できません。新居町ですら高台を作成してます。そういう逃げる場所や洪水を最小限にする工事を是非ともよろしくお願ひします。
- ・ 水は生物系全てに必要不可欠で、時に味方にも敵にもなる。新たな水辺空間整備には、治水を1番に身近な憩いの場になれば、と思います。貴方が素敵な都市計画家になられる事を願っています。
- ・ 昔はうなぎやタニシがいた。今は川まで行けないから分からないが生態系を守ってほしい。
- ・ 霞堤は非常に大切な役割を持っているので大切に維持して欲しい
- ・ 県外出身です。城下で魚釣り、エビ釣り、いまは潮干狩り、夏はしじみ堀り、牛川の渡し船など豊川のできる遊びがたくさんあり大切にしていきたい豊橋の財産だと思う。
- ・ 河川利用よりも治水を優先してほしい。
- ・ この綺麗な、川を永くこのままで。
- ・ 霞堤地域における水害可能性の周知をもっとするべきだと思う。
- ・ この地方の慢性的な水不足の方も考えて下さい。アテにしています。
- ・ 上渡津橋付近の浚渫
- ・ 個人としてこの地域で育てられたわけではなく成人してから一人で住んでいる。いづれまた生まれた地域に戻るつもりでいるので、深く考えたことがないが、技科大生の研究を応援しています。
- ・ 自然を残しながら生活環境を便利にする 交通の安全性など
- ・ 遊水池とは 河川敷ですか 遊水池と河川敷の意味が 明確ではない質問で 混乱しました
- ・ 整備するなら、自然な雰囲気が良い
- ・ 豊川は曲がりくねっているので、治水は大事であると感じます。その反面、生息している固有種が存在するならば、治水よりも保護が大事であると考えます。
- ・ 夏に川で遊ぶ子供がいなくなった。自分が子供の頃の夏休みは、川と学校のプールで1日が暮れていた。だが、今はどうだろう、大人も川で遊ばないので、子供も行かない。これは、川は危ないから行ってはダメ、近寄らないと親や学校で指導するからなっていると思う。上流域の下水道整備

も進んでいるので、昔より川は綺麗になっていると思う。だが、人が川に来て遊ばない。色々なレジャーが溢れているから川になんて行かないのかなあ。川に遊泳出来る場所を設けてはどうか

- ・ 賀茂橋付近では4~5年前までは毎年白鳥が渡って来ていた。今は水位が下がり見られなくなり非常に残念。霞堤の役割はすでに終わっている。早急に閉じてダムを含めた治水施策を進めるべき。
- ・ 豊川と支流の川の整備もしていただきたい。
- ・ 一部の地域の治水のためなら、霞地区の被害は当たり前と言う考えは間違っている。今は江戸時代ではない！
- ・ 小さい頃（小学校低学年）友達と探検で 飽海町（豊橋刑務所周辺）に行くと その周辺の家の庭には必ず船やボートが置いてあり 何でかな？とっていました。小学校高学年になり霞堤があり洪水を防ぐためワザと堤防を切って豊橋の街を守ることを知りました
- ・ 豊川ののどかな景観を、壊さないでほしいかな。
- ・ 身近に感じる河川であってほしい。
- ・ 常に市民が水辺に親しめる環境づくりが大切。環境や生き物を守ることや、水難事故を防ぐ仕組みも同じく大切。現状、市民にとって河川やダムは水道の延長くらいの認識ではないか。
- ・ 南海トラフ地震で豊川の津波による逆流が怖いので(豊川に囲まれ橋をわたらないと出れないので)橋、堤防の強化が大切だと思います。とても怖いです。(趣旨がちょっと違ってすみません) 豊川はいろんな生物がいるので、勉強や遊ぶのにもとてもいいと思います。
- ・ 水害の歴史は豊橋公園のレリーフや家族から聞いているが、地域に広く知ってほしい。豊川だけでなく牟呂用水の氾濫も聞いている。
- ・ あの当時、市内でも洪水で大変になっている事を知らない人もいた。テレビインタビューで、霞堤のことを言ったらカットされたご近所の方もいました。地元民のこともしっかり考えてやっていただきたいと思います。
- ・ 処分場があり残念、地区住民の恩恵も少ない。近隣市域は下水道料金負担を減額すべきだと思う。
- ・ 牛川の渡し は未永く残して欲しい
- ・ 水害対策の強化は絶対に必要だと思う。
- ・ 巨大な地震が起きた時堤防が液状化現象で堤防が決壊せずとも地盤沈下が起きるのが心配です
- ・ 生き物や景観等も大切ですが、あの災害を経験した身としてはとにかく水害リスク(豊川の氾濫)を抑えることが何より大切です。車は水害で使えなくなり、家は基礎が水に浸かると、腐り経年劣化を早めます。安心出来る治水システムが1番の期待です。
- ・ 子供が小さいので、自分が生まれ育った場所の景色としてすぐ豊川が思い出せるように育てていけたらいいと思います。
- ・ 大雨で溢れそうになると不安です。安全に暮らしたいです
- ・ 神野新田町の海拔0メートル地帯に住んでおり津波、決壊等の水害に敏感です。豊川、柳生川の水位情報、雨雲レーダーを見て備えています。遊水池を造られる計画案があるようでしたら 下条、賀茂地域より上流の一つ、とよばしよりも下流の一つ、土地買収に苦勞されると思うので水路で結べば豊川から1km離れてても良いのではないのでしょうか 是非お願いしたい事業です。
- ・ 自然を生かし安心安全な憩いの場を築いて欲しい

- ・ 税金は外国人に使わず、外国人を増やして治安を悪化させない事が一番。ソーラーパネルの設置で環境を破壊しない事も大切。
- ・ 洪水による被害をできるだけ抑えることを一番に考えるのが大切だと思う。
- ・ 話は少し違うかもですが、土手が歩くには歩道もなく狭かったり、二川の渡しが、創造大学から渡った先に何も無い事が利用しにくさがあります。せっかく舟から見える景色は綺麗なんです。
- ・ 大幅な現状変更を伴う環境整備は控えてもらいたい。
- ・ インバウンド客を呼べるようなイベントが開催できたり、市外から来てもらえるような場所が望ましい
- ・ 川から遠ざかるのではなく、身近な存在として位置づけられる場所であって欲しいです
- ・ 堤防の修復が大切だと思います。
- ・ 豊川と放水路に挟まれているので逃げ場がない
- ・ 霞堤のデメリット・リスクも調査対象にすべき。
- ・ 豊川について様々な観点から、より多くのことを知りたいので、地域住民に学習の場があると良い。
- ・ 現状より悪くならない
- ・ 下条を水没区域とせず、発展区域として考えて下さい。 2.防災無線全然聞こえない。
- ・ カヌー教室開催等、もっと豊川を有効理由できればいいと思います。
- ・ 12歳頃まで台風が来るたびに洪水があり家の周りは1mほど水に浸かり、その恐怖心は今でも有ります。下条地域の為にも治水対策は今後も優先的に進めるべきだと思います。
- ・ 今ある自然の保全が大事かと思えます
- ・ あまり馴染みが無く電車を利用するときに感じる程度です。豊川の川辺で遊んだ記憶もほとんどありません。
- ・ 何かを新たに作るのであれば、生態系を壊さず、環境に配慮して、住んでいる地域住民の役に立つことをしてほしいです。
- ・ 人が集まることができる空間(くつろぎ、景観、交通の便)になることで、豊川への関心が高まると考えている
- ・ 野鳥が集まれる自然と、アカミミガメなどの外来種のいない在来種のいる昔懐かしい空間に戻って欲しい
- ・ 毎朝夫婦で散歩しています。季節によって、鳥の鳴き声が、変わります。今は毎朝カモの群れを見ながら歩いています。餌も豊富そうです。街の中でも、自然が楽しめます。
- ・ ヨシがたくさん植えられたが植えっぱなしなのでゴミが溜まる もっと管理して欲しい
- ・ やはりゴミの不法投棄などの問題をクリアできる事が大切だと思う。
- ・ 霞堤がある事で犠牲になる町がある事に胸を痛めます 良い対策があればと思っていました
- ・ 気分転換に散歩が出来る場所 ・子供達が大人になった時に「子供の時よく遊びに来たな」と思えるくらいの施設になると嬉しいです。
- ・ 豊川沿いの防災訓練は重要。大雨や自然災害に対するインフラが弱いと思う。
- ・ 全体を生かす事も大事だが、どこかを犠牲にして成り立つ治水は間違っている

- ・ 豊川用水がとても大事！
- ・ 日曜菜園を沖野地区でやってます。毎年の様に水害があり、作る気力が失せます。早く堤防を作ってもらいたいです。
- ・ 洪水時の水の逃げ場所の確保をして欲しい。
- ・ 今はないと思いますが、下地小学校の出身なので豊川横断がありました。それも有り、豊川は長く親しみを感じています。エビ釣りや魚釣りなどもしたこともあるため、今後も安全な治水もしっかりとして、住みやすい水辺の空間にして欲しいと思っております。
- ・ みんなが水辺空間でゆっくり楽しめるように駐車スペースもたくさん確保して頂きたいです
- ・ 遊歩道 楽しめ道が欲しい
- ・ 大雨の時に道路の浸水があり、目的地に行けない事があったので、排水がスムーズに行われるような環境に なってくれたから嬉しい。
- ・ ダムの貯水量が少ないので数年に一度は渇水が心配となる。
- ・ 豊川放水路がなくても伊勢湾台風で決壊しなかったのは古人が何度も災害と戦うなかで得たのは水は高いところに逃がすと云うことでできた霞堤は素晴らしい治水堤です
- ・ 河口部～吉田城間の堤防・河川敷をよく利用するのですが 線路橋の下近辺は 夏季になると 草木が茂り 通行しにくいです。また河口部をはじめ 溜まった土砂への葦の繁茂、流木・ごみの堆積等により 悪臭が漂い、景観への影響も強く感じています。 個人・地域の住民だけでは対策も限られますので、水系全体での 保全に向けたプロジェクト(既に存在するのであれば より周知を)を望みます。
- ・ 現在の豊川は土砂が多いから土砂を取り除き洪水にならないように整備が必要である。
- ・ 豊川河川内側の耕作地の買上げを希望します。
- ・ 今後は今まで以上に治水並びに渇水対策が必要になると予想されるため、早急に取り組むべき。
- ・ 河川も重要だが、同じくらい山や森林が重要だと考えている。間違っているかもしれないが、杉ばかりの植林も、人の手で方向転換が必要ではないかと強く感じている。鳳来地区に実家があり、昔より山の保水力が下がったと親から教わった。人が自然を育てることをもっと積極的に行う世の中になって行って欲しい。
- ・ 子供が小さい時に朝倉 川で 魚を取ったり水辺で遊んだりしました 最近 そういふのを見かけないので残念だなと思います
- ・ 豊川沿いにジョギングをしています。これからも利用していきたいです。
- ・ 2023年6月の洪水で、金沢地区は、床上浸水7戸、床下浸水19戸が発生した。同じ規模の大雨が降ると、霞堤が開いているため、同じことが起きる。早く、閉鎖すること。小堤は効果が不明。2023年6月の降雨規模に対し、浸水しない対策を早急に実施することが必要。早く閉鎖しないと、死者が発生する事故が起きる。国交省の計画は、23.06の洪水を防ぐ想定がない。小堤ではなく、本堤の建設を支給すべき。
- ・ 防災・安全が第一。その上で自然を残しつつ、触れ合える環境が望ましいな。
- ・ 霞堤があることによって、生活圏への浸水被害が心配です。それによって町内から出て行った方もいます。
- ・ 堤防沿いを安心してウォーキングできるように整備ほしい

- ・ 堤防が古いので、地震があったら怖いです。
- ・ 広場や遊具があり、くつろげる場所を多く作って欲しい。豊川が決壊や洪水になる可能性が高くなっている事を十分考慮して欲しい。
- ・ 綺麗な川なので清掃活動をしっかりやって欲しいです
- ・ 洪水はなくして欲しい
- ・ 川の水が澄んでいて、魚や亀がゆったりしているのを橋から眺めて癒されています。ただ、生活に必要な衣食住の商店が非常に少なく坂の乗り降りなくして買い物もままならず、バスの便も非常に少ない状態です。農村地で去年は酷暑の影響もあり、農薬の使用頻度も半端ありませんでした。暮らすゾーンと農作業や自然観察するゾーンをはっきり分けた方が良いのか、避難所タワーのようなものをもうけて共存できる方が良いのか。国家債務を増やさず、国力を豊かにできる方法を政治家や役所の先生方にも考えていただきたいです。農薬や排ガスに関しては自分たちの子孫の発達含め生態系への影響も心配があり、規制すべきところと規制緩和すべきところで上手く折り合いがつくと良いと感じております。
- ・ 霞堤のある地域のこと考えてください
- ・ 子供の頃は、釣りをしたり、生き物を探したり楽しめる場所でしたが、今では危険な箇所が多く、近づくのが困難な場所となってしまいました。昔のように行かないと思いますが、楽しめる場所が有れば良いと思う。
- ・ 水辺そのものの話ではないが堤防道路の幅が狭く歩道も分離されておらず車もかなりの速度を出す為ウォーキング中に身の危険を感じる事が多い
- ・ 霞堤を閉鎖して欲しい！悪天候でも、落ち着いて暮らせる環境を切に願う。
- ・ ゴミが流れていて、景観が良く無いところがある
- ・ この地域は、竜巻の多発地帯である事を、義務教育の範囲で教えてください。
- ・ 23年の災害で、水害の恐ろしさを身に沁みて感じました 霞堤の地区の方を気の毒に思いました きれいごとになってしまいますが、命を守るためのことと、自然を守ること、どちらも大切で、バランスが取れたらいいなあと思います
- ・ 大地震があった時、もし堤防が壊れ 住宅地に水が入ってきたら～と思うととても恐怖です。常に丈夫な堤防であってほしいです
- ・ 箱物やテーマパーク的な物より既存のインフラの維持、補修をお願いしたい。
- ・ 霞堤は下流地域を守るために必要なものであるが、霞堤地域に住む人々のことも考える必要がある。私は賀茂校区に勤務しているが、そこに住む人々の思いとしては、霞堤があるから洪水が怖い、です。霞堤なしに、洪水を防ぐ取り組みが必要。誰1人として犠牲になって良い人はいません。
- ・ 豊川放水路に平時から豊川の水を流せないか?濁った放水路ではなく、綺麗な水辺として平時に利用出来ないか?
- ・ 豊川、放水路の中に住んでいて低い土地なので大雨が降るたびに車の移動をしてヒヤヒヤしています。排水機能が発揮して頂けたらと思います。
- ・ 人が集まり騒いだり、ゴミを捨てたりしないようしっかりと管理できる場所なら開発する価値があるのでは？ ただの治水のためなら、いまのままでいい。

- ・ 人間の娯楽よりも自然保護を考える必要があると思います。また、霞堤に関しては上流で決壊し被害が出てあるため下流のためとはいえ上流の被害も考慮する必要があると考えます。
- ・ 霞堤のある地域に住んでいるものとして災害時に水没する危険があることは困るので犠牲になりたくはありませんいつまでも霞堤を残されては困るのですしめていただきたいと思います 江戸時代お城を守るための湧水地に住んでいるものとしては景観より命の方が大切だと思います
- ・ 台風や大雨時に定点カメラや川の水位をネットで確認していて大変助かっています。もう少し定点カメラの数を増やし、ホームページ上でのリアルタイム監視の充実度を上げるために予算を増やして充実してほしい。
- ・ 水辺空間が豊かになる事は、あらゆる年代の人々の日常が豊かになる事だと思う。 防災の面でも、必要な要素ですよね。
- ・ 清掃活動、安全性。
- ・ 現在、整備されている（堤防内側）と堤防事業の進行にともない、ハクビシンなどの害獣被害が出ている。整備事業と生態系保護の問題は理解しているが、害獣被害を受け経営破綻の状況にある現実を理解してほしい。
- ・ 洪水しない川づくりが大事
- ・ 豊橋公園から吉田城横を抜け朝倉川を渡った所にある河川敷はウォーキングには適しているがアーリーナパーキングの計画を耳にした事があり 両件とも上手くやって欲しいです。
- ・ 霞亭は必要だと思います。豊橋市内は大雨が降れば浸かる場所が粗方分かっており、この間も浸かる場所が浸かった感じです。地域によっては家の基礎の高さは地元の神社やお寺に合わせるなどの教えがあり、それを無視した新しめの家が被害にあっていた印象でした。先人の知恵や残した情報は過去の被害から得たものであり、とても大切に有効活用しないといけないと思います。
- ・ このような事をやるぐらいなら住んでいる住民の方々にきちんと保証するべきです。被害者の気持ちを考えてください。
- ・ しっかりとした堤防をつくるべきでは？
- ・ 河川沿いに生えている竹や雑木を伐採し、大雨時の水流の妨げを解消し水の流れを確保。また、伐採することで害獣が住み着かないようにすることが重要。伐採したところはランニングやサイクリング、ウォーキングなど健康促進できる場所へと活用させる。 害獣の活動範囲を減らすことで、農産物への被害を減らし、持続可能な農業できる環境を造ることが重要。 国、県などの事業として推進させる。
- ・ この先は、想定を超える量の雨が降ると思うので、上流からの水量も考えて、下流域の排水機能を良くしてほしい。
- ・ 治水はマストで、農家の高齢化及び後継者不足によって農地の維持が難しくなるので一帯の再開発も要検討
- ・ 2023年の大雨災害をはじめとする昨今の災害激甚化を踏まえ、豊川特有の霞堤の現状活用や機能的な遊水池の整備などを進めることが重要であるとのアンケートを通じて理解できた。
- ・ 我が家の家は遊水池内です。又沢山の方々がこの地に住んでいます。自然環境や生態系を大切にす、又景観を良くするなどのことは理解しています。ただし、何より他人事ではなく人の命を最優先する事が大事ではありませんか。前回の洪水では人が死んでいます。もう予算が無いとか、江戸時代

のように城を守るとかいう時代ではありません。この件でも、人の命を守る解決法は色々あると思います。貴殿のこのアンケートが大学内にとどまらず、貴殿や技大からも市県省庁などに進言していただくことを切に願っております。

- ・ 防災として、水害があったとしても最小限に終わらせられる状況を作れるように、普段から垂直避難など練習もして、命を守れるようにしておきたい。
- ・ 豊川の堤防沿いの歩道は、犬の糞が落ちています。遊水地などの施設を設ける際は、ペットのマナー対策も必要と思います。
- ・ 生き物を大切にしてください。豊川にも、その周辺にもたくさんの生き物の命があると思います。
- ・ 2026年6月の大雨時、新栄町の一部は道が冠水し自宅駐車場の車もタイヤ半分まで水につかり、不安な夜を過ごしました。豊川の不安もあったため、このように学生さんが調査・研究されていることを嬉しく思います。高齢者と会話することが多いのですが、「車を気にせずウォーキングしたい」「パターゴルフがしたい」「年金暮らしでお金をかけずに体力づくりをしたい」などよく聞きます。そんな場所が水辺空間にあったら嬉しく思います。自然も人の心も豊かであることを願います。
- ・ 想定を超える自然災害が発生する可能性があると思いますが、100年後に整備してよかったと思える施設がいいと思います。
- ・ 魚や鳥等の生き物にとっても良い環境、共存できる水辺であつたらいいと思います。
- ・ この種のアンケートには今までも回答させていただいたことがありますが、今回の内容には少し失望しました。水辺の暮らしにおける遊水地を美化したいのかもしれませんが、いったい何を研究されているのですか？治水も研究されているのであれば、国の流域治水の考え方はご存じですよね？その中で豊橋市は対象地域の住民の事を無視しているとしか思えない対応をしている事をご存じですか？アンケートの根拠となっている2023年6月の大雨の時、豊橋市において唯一人命が失われたのが遊水地と言われている下条地内だったのはご存知ですよね？確かに自然との共生も大事なテーマでしょう。ただそれは学問（勉強）上の綺麗事だけでは方向付けや結論付けの出来る事ではないと感じています。今後の治水と暮らしの在り方をお考えであるならば、もう少し踏み込んだ「現状を知る」事から始められることをお勧めします。
- ・ 23年6月の豪雨では地域の高低さで被害がわかれた。また今の側溝のままでは排水しきれないのかよく分かった。下水が発達し普段から水が通ってない側溝では堆積物が山ほどあり、余計に排水がされにくい。一人暮らし、高齢などにより側溝の蓋を開けての清掃は無理がある事から、市で1年に一度でも良いので清掃するなどの工夫がほしい。（遊水池とは関係ないが。）
- ・ 3年前は大雨、昨年からは節水、安心安全な暮らしがしたいです
- ・ 昨今の各地の大雨被害で霞堤が見直されていると聞かすが、それは江戸時代の治水技術。今では霞堤地区に新築する住宅もある。霞堤以外の方法で住民の生活を守ることを考えるべきと思う。
- ・ 川に魚や亀がいたり、川岸に菜の花が満開に咲いたりする風景は大切にしたいと思う。
- ・ 幼少期に豊川や朝倉川で遊び、楽しい思い出がたくさんあります。今後も子供たちが安全に遊ぶことのできる環境を守って行きたいと強く思います。

- ・ 霞堤がクローズアップされてるが川底が昔と比べて上がっている点も重要で掘り下げ被害を軽減できないか。霞堤の近くに居住したり田畑を所有する者も居て、上流の犠牲の上に下流域の住民の安心が成り立っている事を忘れてはならない。
- ・ 大雨の時に音羽川河港に住んでいて、水嵩が増してきたときは凄く不安でした、もう少し情報が欲しかったです。
- ・ 小学校教諭です。豊川の生物や環境について、社会や総合的な学習の時間に取り上げる機会が多くありました。子供たちが地域に愛着をもつことができるような自然環境が整えられるとよいと思います。私自身も、住んでいる地域の穏やかな環境が好きです。洪水の被害が減り、この先も安全に住み続けられる場所であることを願っています。調査お疲れ様です。
- ・ 過日の大雨等、昨今の異常気象は今後も続く事が危惧されます。万全の治水対策が必要だと思います。
- ・ 霞堤に堤防ができることで下流の氾濫が増えないか心配です。
- ・ 関心を持つ人を育てる参加しやすい行事開催
- ・ 水の流れ、釣りをする人を見る事で ホットとする
- ・ 海に近く土地も低いので、大雨はもちろんですが津波のような災害も心配です。
- ・ 子供が小さい頃は豊川沿いでよく釣りをしました 自然のままもいいですが、手を入れていただくとより安心してくつろいで過ごせると思います
- ・ 若い時に三上でバーベキューやりました。堤防を通ると親子で遊んだり球技、スケボー等やる姿を見かけたのでいい場所だなと思ってます。豊川は釣りをしてる人がいたり、シラサギやカワウもいたりと景観を楽しむこともできるので、とても愛着があります。でも最近では日本各地で豪雨災害が増えているので、そういう対策も必要なのかなと感じています。今は去年から少雨すぎてダムの枯渇が心配ですが…。
- ・ 私が子供の頃、雨の為床上浸水があった事は覚えております それ以降は災害は経験していません 豊川用水のお陰だと思っています
- ・ 霞堤防で知り合いが大きな被害を受けたが、豊川放水路がある現在、霞堤防をなくしても、なんとか水のコントロールができないのか？
- ・ 自然が失われていく今だからこそ間に合ううちに強く保存を願っています。
- ・ 洪水に対して、色んな近代的な方法がありますが、古来から伝わる聖牛方を取り入れれば自然環境に良いのでは
- ・ 下地公園のあたりは、ただ雑草が伸びたらかるだけ。人もあまりいないし、もっとみんなが楽しめる活用できる場所にして欲しい。私たちは頻繁にウォーキングしていますが。竹林のあたりは夏は雑草だらけで歩けません。
- ・ カヌーポートをつくってほしい
- ・ 水質がかなり向上してはいますが、まだまだもっと綺麗な水にしていきたいです
- ・ 豊川は、この地域に住む者にとって身近であり、なくてはならないもの。しかし反面、水害リスクもある。治水は最も重要なことだと思います

- ・ 整備された公園のような場所は維持管理されて""美しい""となるので、豊橋でこれ以上維持管理が必要な施設が必要なのか疑問。水場は衛生管理の話になってしまうので、水を逃す機能だけで良い気が。
- ・ 意見を聞いてしっかり取り入れる
- ・ 川底の砂をすくってくれると、流れがよくなるのではないのでしょうか。水不足以前から、浅瀬になってきて、砂場の島ができてます。
- ・ 利権が絡んだ無駄なものは作らないで欲しい。本当に必要なものだけ作ってほしい。吉田城周辺の渋滞がひどいのもう一つ橋があると住みやすくなるのでは。
- ・ 霞堤で洪水になる。今の地域では迷惑。
- ・ 防災ボランティアの活動をしているが、南海トラフ巨大地震の際に豊川が氾濫することをとても心配しているので、今後豊川周辺が整備されるとしたらとても良いことだと思う。豊川周辺に住んでないと豊川市の住人でも霞堤の存在を知らない人も多いと思うので、学習する機会を設けて、防災意識を深めることが出来ると良いと思う。
- ・ この地域はどのくらい雨が降ったら排水が追いつかなくなるとかからやるべきでは
- ・ 川岸で安全に釣りなどが出来る場所があればと思う。豊川に流れ込む河川の浄化にも気を使って欲しい。
- ・ 毎日朝倉川の橋を渡る時に鳥の飛来、亀の甲羅干し、土手に咲く花で季節を感じています このままの自然環境が維持される事を望みます
- ・ 堤防内側での耕作放棄の畑が多く、遊水地になっている。
- ・ 治水や水辺空間以外に貯水池整備も必要ですが、人工雨を導入すべきと思います。
- ・ 豊川放水路でアカエイを見た
- ・ 昔のように、きれいな砂浜が欲しい。へどろが溜まっていて汚い。豊川が浅くなって来ているので掘った方がいいと思う。
- ・ 問題が多すぎるので途中でやめた人も多いだろう
- ・ 霞堤のある地域に住むものです。霞堤は現在、封鎖する前提で動いているはずですが。遊水池の発想は国の方針を後退させるアンケートに感じてしまいます。地域に住む住民の気持ちを逆撫でしてしまうように感じてしまいますが、いかがなものでしょうか。また、学生研究の一環で行う内容として、適切なのでしょうか。地域住民の1人として、このダイレクトメールを心配しています。
- ・ 豊川流域治水出張所などを子供たちに見学してもらいたい。また牟呂用水や豊川用水など農業用水も合わせて知れる所はあるのだろうか？
- ・ 津波に強い空間づくりにしていただきたい。
- ・ 自然の力には負けてしまうので、河川整備にお金を注ぎ込み過ぎても、洪水で流されてしまう。
- ・ なぜ、豊橋市側の霞堤は残っていて、豊川市側の霞堤はふさがれているのかと思う。早く霞堤をふさいでほしいです。
- ・ 昭和の頃を考えれば豊川沿いは随分整備されたと思う。災害の問題が少なければ特に変化させる必要はないと思う。
- ・ 前回の洪水時、床下浸水やエコキュートの買い替えなど、200万ほどの被害があった。霞堤により一部の地域のみが被害を抱えないといけない状況が変わればと願っています。

- ・ 小坂井地区は湧き水があり、井戸水も多く、水は生活に密着していると強く感じる。水脈を上手く利用し、教育活動や、湧水対策などと、水害対策を上手に融合して欲しい。 学生の皆様方、期待しています。 研究頑張ってください。
- ・ 治水とは、どう言う事がよくわかりませんが地元の人々の生活を脅かさないように自然環境や景観をまもる 霞堤の近くの家や田畑が洪水の被害に合わないよう考えてほしい
- ・ 小さい時から豊川は身近にあり、霞堤についてもよく理解しているつもりでしたが、前回の大雨、洪水のことを考えると、霞堤のあり方を見直さないといけないのではないかと思います。実際床下浸水や梨、柿の木が上部の方まで浸かった身としては、下流の洪水を防ぐだけでなく、霞堤と共にあるそこに住む住民のことも考えて欲しいと思います。これからは、地球温暖化の影響と思われる大雨や洪水が多くなることが予想されますので。
- ・ 子供の頃、春から初夏にかけて、しじみをよく取りに行ったりしていました。これからもそんな環境が維持されることを望みます。
- ・ 自然や景観なども大事だとは思いますが、人命を守ることが一番大事だと思います。
- ・ カーボンニュートラルの関係もあり緑や自然を大切にしたい。
- ・ ドブの匂いがしないことが 大切
- ・ 自然、水と触れ合う施設が教育には必要だと思います
- ・ 豊川周辺で草などが生え放題で放置されている様な所があるので整備してほしい
- ・ 自然保護を考えながら治水していただきたく思います。
- ・ 吉田城鉄橋の横から見た豊川の風景がよいと思う コンクリートで川を固めないでほしい 貸しボートが復活すると嬉しい
- ・ 自然環境（生き物を含む）が守られて、皆さんが くつろいで楽しめる場所が良いと思います。
- ・ 洪水被害の無いように治水対策を万全に調べて空間づくりをしてほしい。
- ・ 珍しい渡り鳥 植物が観察出来る場所を大事に残して欲しいですね
- ・ 豊川はとても馴染みのある川なので、今後も地域にとってのシンボリックな役割があるなと思います。しかし、2023 の大雨の時には氾濫寸前まで水が増えてしまっていたなど、災害時の危惧は拭えないのが現状です。 これからも安心、安全に過ごし、なおかつ子どもたちの遊び場などができたら、とても良いと思います。露堤というものがあるおかげで、生活が守られていることを改めて感じました。
- ・ 防災機能と地域住民の憩いの場となるような施設などがあると嬉しいです。
- ・ 水害のリスクが高い所に住ませない様に厳しい規制を作る。もし住む場合は自己責任とする。人口が減る中、費用面で管理出来ない施設は作らない。
- ・ 豊川は子供の頃ハゼ釣りしたりカニ釣りしたり、貸しボートでコンジキジマに行ってしじみ貝とりをした思い出があり、堤防ではつくしやヨモギを採って母が美味しく料理してくれました。安全に誰もが気軽に立ち寄れる場所があると良いなと思います。
- ・ 豊川下流を浚渫して欲しい
- ・ 治水機能はもちろん、四季を楽しむ散策コースがあると親しみやすいです
- ・ 治水と水の浄化(飲料水として)豊かな豊川の水(塩水を含む)を活用して断水を防ぐ、集中豪雨時の治水など複合施設であれば尚結構！

- ・ 気候のいい季節には川辺まで降りて水遊びが安全にできて時間を忘れるくらいゆったりとした空間が欲しいです
- ・ 散歩中ヌートリアをたまに見かけるので、堤防に巣穴を作って決壊の一因にならないか心配です。河川敷の地面がボコボコしている箇所があるので、整備すれば散歩などの利用者も増加して愛着が湧きやすいと思う。
- ・ 夏は海老を取りに行き唐揚げにしています。 ・車が来ない場所もあるから安心して散歩に出掛けられる。 ・行く道中で季節を感じられる。
- ・ 治水は大切だが、税金や費用を検討し、限られた予算から治水を行う試算を行ってほしい。理想は予算をあげればいいが、より命に切迫した問題もあるため、次は予算内で行える施策のアンケートを検討お願いします！
- ・ 吉田城下の木の橋の所に引き潮の時小島が出来るのですが、子供の頃そこで釣りしてて、知らないうちに水位が上がってて帰り道がなくなり危険だった思い出があるので、今どうなってるか知らないが、あそこで遊ぶなどといった立て看板が必要だと思う。
- ・ 今の豊川の河川敷、残念ながら水辺空間には何の魅力も感じない。なのでわざわざそこに出かけようと思ったこともない。豊川周辺に例えば川沿いのジョギングコースや吉田城の北側辺りに大規模な遊水地として公園や駐車場があり、自然を感じられるエリアが出来れば豊川流域はもっと魅力的な場所になると思う。
- ・ 歴史や役割を知らせる看板のようなものがあると、フラッと寄った場所のことを知れてよい。水鳥の情報の掲示板などがほしい。浜松の石人の星公園の野鳥観察スポットを参考にすると良いともう湖西市に多くある親水公園も参考にするといいと思う。大知波の親水公園は、老若男女自然と触れ合える。豊橋は公園が多いところはいいところだと思いますが、駐車場が少なく駐車場があっても利用目的不明の車が長くとまっていて、駐車場があかなかつたりする。豊橋の公園の傾向は駐車場の周りに木が多く目立ちにくいため、治安も悪くなりやすい。怖い。街灯が高すぎて歩行者が見えにくい。のでせっきやく親しみのある豊橋の水辺空間を作るなら、安心安全な場所を作ってほしい。
- ・ 自然と共有しながら、生活者の命を守る対策が必要
- ・ 通勤が出来ずとうまわりをした経験がある 交通機関が止まらないように
- ・ 気候が極端になってきているので、災害が起こらないように整備するのが最優先だと思います。
- ・ 遊水地にお金を使ってグラウンド等を整備しても、ひとたび洪水になれば濁流に構造物は流されたりして下流域や海への被害も出てしまう恐れがあるので、整備するのなら人工物は使わない工夫が必要だと感じます。
- ・ 洪水を起こさない。起きてても被害が無い仕組みが大切だと思う。
- ・ 生活の安全に配慮しながらも、自然を遺すことも大切にしたい。競輪場近くで、以前翡翠が見られたのに、護岸工事で居なくなってしまう、残念です。
- ・ 子供の頃から学校行事等で豊川と関わりながら生活しており、貴重な経験であったと感じます。この豊川の景観維持や設備の発展を大切にしたいです。
- ・ 霞堤は廃止してほしいです
- ・ 災害に強い安全な環境が望ましい

- ・ 霞堤周辺地域の人たちは豪雨被害が大きくなりやすく気の毒に思う。遊水地のような専門の治水対策施設を設けることで、霞堤機能の縮小ができればと思う。
- ・ 治水と自然環境の両面を兼ね備えた空間が必要
- ・ 前回の水害はポンプ故障などメンテ、管理不足に大きな要因がある。インフラの管理運営が重要ではないか。
- ・ 地震や洪水の際のインフラ整備。橋の数が少ないので心配。震災や洪水が起きた時の復興時
- ・ 子供が小さい時は土手にツクシを取りに行ったりバーベキューを楽しんだりしました。川は身近な存在ですが地震での逆流や大雨の影響等不安はあります。自宅周囲は水没被害は今まで起きた事はありません。川が安全で楽しめる場所であるよう願います。
- ・ 霞堤は、大事で、都内の地下空洞も、遊水池として活躍している。これからも必要です。
- ・ 吉田城からの豊川の景観が大好き。遊歩道が冠水しても大丈夫な設計に感謝。渇水時、川鶴を見掛けました。治水と自然への配慮を宜しくお願い致します
- ・ 自然災害に対応出来るように、景観等にはあまりこだわらず、整備して欲しい。
- ・ 大雨の時に命を落とされた方や被害に遭われた方や作物の事を無駄にしないよう 平時から考える事が大切
- ・ 治水目的等で河川の景観や生態が損なわれていくのは悲しいので、可能な範囲での保全を図っていただきたい。
- ・ 身近にある川 散歩やシジミとり(最近はあまり行ってないけど)で昔からお世話になっています ただ土地が低いので、洪水になったらどの程度浸水するか気になります
- ・ お城下で、貸しボートに乗ったり、魚釣りやしじみを採ったりした。きれいな水を保って欲しい。
- ・ 豊川周辺の小川や田圃で夏になったらホタルが見られる様になったら良いと思う。
- ・ 人工的なものはこれ以上必要ない。
- ・ いつまでも愛着を感じることでできる川の姿を望みます。
- ・ 行政は 2023 年の線状降水帯の被害を受けたその後何ら手を打ってません また同じような被害が出ます 被害を最小限にするために動いて欲しいです
- ・ 遊水池
- ・ 温暖化で台風の巨大化 ゲリラ豪雨が頻発してきており 賀茂に住む家族は浸水の恐怖 ひよっとしたら死んでしまうのではないかとこの恐怖を感じる事が多くなりました 昔とは気候が違います 賀茂の霞堤が溢れて 助かる命があるかもしれないですが賀茂の人の命と比べられているようで嫌です 賀茂は避難所が浸水被害のあった場所になっているところもあり不安ばかりです 気候が変わった今 昔の霞堤の制度のままでよいのか疑問です
- ・ あまり使われなくなった、水路(松原用水など)を定期的に掃除することが出来れば、きちんと水が流れるのではないのでしょうか。
- ・ 堤防道路や駐車場としてしっかり活用できるようにして欲しい。途中で途切れたりが無いようにして欲しい
- ・ 霞堤周辺に暮らす人が大変そうなのでなんとかならないものか
- ・ 変質者が出ることもあったので、防犯対策(カメラや灯りなど)もあるとより利用しやすい。

- ・ 洪水対策として豊川放水路が出来ていると認識しているが何十年に一度の災害で今回は平井のポンプ故障で被害が広がったと聞いています。機械の力に頼らない防災施設の建設をお願いしたいです。
- ・ 今のままの状態を保つ
- ・ 下流域に多く放置されているゴミ プラゴミの撤去
- ・ 小学生の頃、演劇で治水の為に人柱をたてる話を演じた事があります。治水が大事な地域なのだと感じた思い出です。
- ・ 霞堤なくせ めいわく。
- ・ 豊かな自然がかつてはありましたが今やすっかり住宅地域です マンモス学区となり驚きの変化ですがそれと伴って河川整備も向上し有り難いことです 何があってもおかしくない時代 自然災害ばかりはなんともできず あなたたちの研究が将来実りるように祈っています
- ・ 洪水の被害を少なくすることができる霞堤の機能をもっと広く知らしめてほしい。
- ・ 豊川は素晴らしい川なのに、あまり整備されていないので、散歩やジョギングが楽しくない。
- ・ 河口に行けば行く程、川に両サイドに堆積物やゴミクズ等の堆積が目立つ。 管理も大変だと思うが、何とかしたいものですね。
- ・ 豊橋にアリーナが出来たら、洪水対策出来ていないと思う。朝倉川が氾濫したら近隣の人はアリーナに避難出来ないと思う。
- ・ 豊川下流地域に住んでいるが最近堤防道路のひび割れが多くなった気がするので心配。
- ・ こらからもこの先祖代々の土地に住み続けていく子どもたちが、洪水の不安なく暮らせるようになると思います。
- ・ 豊川の生態系、環境を保つためと生活面や産業面でも重要であるため整備が必要と感じます。そのために必要なことがあれば、地域の水域清掃以外にも積極的に参加していきたいです。
- ・ 水が入らないよう堤防を造ってほしい
- ・ 孫たちが小さい頃、毎年、つくしをとりに、土手に行っていた。今は、その孫たちは大きくなり、行ってはないが、いい思い出である。 また、豊川を眺めると、どの季節でもほっとする。周辺や水辺空間が、いい状態になっているからだと思う。
- ・ もうすぐこの土地に引っ越して一年になります。自転車で川沿いの道を走りながら、「水のある、のどかな土地なんだな」と感じました。「豊かな川」と書いて豊川。その名のとおり豊かな川と、これからも親しく付き合っていくことを大切にしたいと感じています。
- ・ しじみが戻ってきて半世紀。下水道や浄化槽の普及のおかげが大きい。豊川での砂の採取が禁止されて半世紀。下流では半世紀前のヘドロ層の上に綺麗な砂の層が現在出来ている。そこに今、しじみが沢山生息している。豊川の下流は明らかに浅くなっている。大潮の干潮時は歩いて渡れるくらい。だから前回の洪水時は下流の堤防で溢れることが心配だった。遊水池と上流側での氾濫で下流は氾濫しなかった。日本の大きな一級河川と比べると豊川の下流幅は狭い。半分以下？そういう豊川で新たな遊水池をとるとなかなか難しいのでは。下地、大村、牛川、下条…、地域の現在の土手の外側の農地に堤防を作り遊水池とするか、東京のように地下緊急貯水道を設けるの二択。前回の洪水で冠水した方が言っていたことは家の周りの田んぼが遊水池の役割をしていた。それが、田んぼがいえや商業施設に変わって減った。それが一番大きい。経験でこれくらい地盤を上げ

れば大丈夫だったがそうはいかなくなりました。豊川流域の開発制限は必要だと思う。それで、農作物に被害が出たら十分な国の支援をする。その方が安い。ぜひ、インターナショナルで、豊川が世界のスタンダード！日本は源流から河口までの流出速度が短い河川ばかり。大陸の大河と異なり島国の世界のスタンダードになるはず。豊川流域で暮らす一人として、豊川の治水が人と生態系の両方を満足した、世界でもナンバーワンとなると嬉しい。

- ・ 豊川周辺に住んでいるが、手入れがあまり行き届いておらず、漂流したゴミ以外にもゴミがあることが気になる。散歩や釣りを楽しむ方がいる一方で管理不足が故に草木が生い茂り、水害の観点からも豊川や放水路の必要性を感じられないのも事実。豊川一帯が綺麗に整備され、小坂井バイパスの延長工事が進めば、利用したいと思われる層も出てくるのではと考える。また、増水時などには出勤、退勤の関係でライブカメラなどをよく利用して状況把握に努めるが、見にくかったり、見たい箇所がなかったりもする。利用者が増えれば、管理が大変にはなるが、地域復興にもなり得る為、クラファンなどを通じて認知力を高め、豊川周辺環境が発展してくれることを祈っている
- ・ 橋が少なく交通の便が悪い。渋滞が毎日の様に発生してるので川はいらないので埋め立ててほしい。
- ・ 先日の大雨時は豊川周辺のあちこちで冠水していて大変でしたが、霞堤や放水路のおかげで何とかなったのかなと、先人の知識や功績をありがたく思いました。今後も安心して生活できるよう、ささやかながら個人ができることを実践して水辺の環境を守ることができればと思います。
- ・ 地震の災害時に活用出来る様な設備が多くなる事を願います。
- ・ 堤防の適切な管理
- ・ 治水工事は大事だと思います。だが固有生物もしっかり我々と共存出来る豊かな川を維持出来る治水工事設計をして欲しい。
- ・ 災害が無く安心して生活していける事が重要だと思います。
- ・ 治水機能は最も重要であるが、平常時の活用も重要だと思う
- ・ 豊川上流には、設楽ダムを建設、野田の堰堤等本当に豊川や廻りの人達に必要？と思う事があります。
- ・ 豊川は大きな河川の為よくこの様な話題があがります。しかし小さな川はあまり話になりません。23年の大雨でも色々な場所が溢れました。そちらも少し見て頂けると嬉しいです。
- ・ 支流、朝倉川の近くに在住。毎日、川を見ながら散歩。自然を大切にしたい。
- ・ 霞堤をなくして、遊水地をつくって欲しい。
- ・ 現状で洪水被害に遭う可能性の高い人が減るような対策をまずは進めてほしい。それが地域の生活にプラスになるような環境や施設になるならなお良いと思い、そのための協力を地域でやっていけば良いと思います。
- ・ 自然環境は大切にしたい。緑豊かな豊橋を希望します。毎年やってきてくれるカモたちに癒されています。
- ・ 景観、環境が大切だと思う
- ・ 豊川下流域については、河川改修が終了しております。近年豊川放水路も出来、機能している為どの位の遊水池が必要となるか分かりません。最近の異常気象等では、予測が不可能であると思われませんが教えて頂ければ幸いです。

- ・ 令和5年の豪雨を経験して自然災害の恐ろしさをあらためて知った。その豊川の下流近くの雄大な流れを見て、心癒されることもある。災害対策をしながらもこの自然環境を守ってほしいと思う。
- ・ 昔に比べたら大雨の後も 水がたまらなくなったと感じます
- ・ 降水量の年代変化を考慮した、洪水被害対策が必要と思われる。現在参照している数値が、近年のものであり歴史の長さから言えば妥当性に疑問がある。
- ・ 霞堤で被害を受けるひとたちに損害金を支給すべきだと思う
- ・ 洪水に備えて霞堤をふやしたらいいと思う
- ・ 透明感のある豊川、これからも、きれいな状態を維持してほしいです。
- ・ 豊川流域の治水対策 洪水対策
- ・ サイクリング道路を整備してほしい。
- ・ 本当にこの4~5年でも、豊川周辺の生物のバランスが変化していると感じます。暑さの影響も少雨の影響もあるでしょうが、それも人類の仕業と思うと生物に申し訳ない気持ちになります
- ・ 愛知県の河川域整備と有効活用は他県（静岡等）に比べて遅れているように思う。河川沿いを歩いても、楽しいとか清々しいと感じる場所が少ない。 治水機能+人々が集まる環境、両者併せ持つ整備を望む。
- ・ 現在、豊川水系の宇連ダムや大島ダムの貯水率がピンチの状況が続いている。設楽ダムの早期完成が待ち望まれる。ダム建設は必要無いという声もあるが、必要不可欠なモノだと思います。
- ・ 今住んでいるところは、水害についてはほぼ心配ないが、どこかの地域の被害の上で成り立つ治水はあまり好ましくないと考えている。霞堤ではない方法で守ってほしい。
- ・ 金沢に暮らしています。幼い頃の記憶では浸水の記憶があります。 近年は余りありませんが、23年の6月豪雨では帰宅困難となり高台の知り合い宅に身を寄せ不安な夜を過ごしました。霞堤のある下条、金沢、賀茂地域は浸水し易く不公平さを感じます。温暖化も進み今後は不安です。
- ・ 霞堤は不用、今の高さまで堤防で治水 して。
- ・ 自然を大切に思い暮らせるありがたさをみんなで共有できる
- ・ 沖野の堤防は必要でしょうか？
- ・ 霞堤が、無いことが一番と思います。
- ・ 整備が過ぎると鳥などが寄りつきにくくなる、ほどほどの手入れでこの地方の豊かな自然と共存できたらと思う
- ・ 霞堤委員をやったことがあります。 自分は会議の時、聞いていただけですが… 霞堤にある排水路には小学生の頃、石亀とか取りに行った思い出があります。 タナゴとかもいましたね。
- ・ 西浜町に住んでいます。液状化地域で地震の折の津波が心配です。こういった浸水地域に住む人々が移転できる為の補助金があれば助かります。
- ・ 豊川で子供らが遊べる環境(場所)がほしい。
- ・ 農地へのはんらんは仕方ないと思うが、宅地へのはんらんは防げるような治水対策を望みます。
- ・ しっかり管理された施設を希望。雑草や木々がうっそうとしない、夜は封鎖とか防犯を意識してほしい。
- ・ 流木やプラスチックゴミが浮かんでいて気になる地域住民の助けも借りてきれいに片付けられたら良いと思う

- ・ 長年北部校区地区の整備がされていないので放置状態で…早くしていただきたいです。
- ・ 霞堤を早くやめて欲しい。台風が直撃しそうな時は、とても不安です。NHKの河川状況を何回もみながら、水位が上がり氾濫しないかとビクビクします。
- ・ 生態系を壊さないように、環境に配慮した工事をしてほしいです。
- ・ 住民の意見に耳を傾け、落としどころを見極めてほしい。
- ・ 毎年、雨の季節になると不安です。集中豪雨、台風など、被害が出ませんようにと祈るような気持ちで過ごします。治水を一番に望みます。
- ・ 霞堤は治水には役立っていると思いますが、霞堤で農業を営む方は、洪水のたびに果樹などがダメになると聞きます。誰かの犠牲の上に私たちの安全確保がされている点には複雑な思いがあります。
- ・ 自然環境の保全は大切だと思うが、今の豊川は保全されているというより放置されている印象で近寄りづらい。
- ・ 自然環境を重視しながら 地域住民の生命財産をまもる 治水対策をして欲しい。
- ・ 私は豊川近辺の三河湾に近い馬見塚町に住んでいます。大雨など異常気象と地震 津波洪水など心配もありますが豊川放水がある事で安心している所もあります。豊川べりはウォーキング行きますがバーベキュー後のゴミがあつたりします。そしてシジミが少なくなってる様にも思います。自然保護も大切だと思います。
- ・ 道路が狭い、すぐ水没する、水辺空間に駐車場がない遊びに行けない、橋が狭い 逃げ道がない
- ・ 大雨の後の川の様子を身近に感じるので大事にしていかななくては行けないよ思っている
- ・ 2023年6月の豊川市小坂井町における線状降水帯による豪雨被害は、豊川放水路へのポンプアップ機能不全で、国道1号を含め道路冠水、田畑や一部家屋の浸水が進展した。まちづくり三法成立前の市街化調整地の開発を許容したことが影響している。河川の治水は、河川の施策だけではなく、まちづくりのあり方も大切だと思っている。以上
- ・ 中学生時代に豊川の恵みについて教育を受けたことが今も印象に残っている これまでの環境を維持しつつ、水害や津波等の災害にも強い環境づくりが必要であると感じる
- ・ 子どものころから自然を感じる唯一の遊び場だったのでなるべく自然を残した治水工事をしてほしい。
- ・ 豪雨による被害を出さないのが大切だと思います。
- ・ 霞堤の事を知る機会になり、ありがとうございます。しかし、自分の今まで、下条や加茂、牛川などは、少しの雨で冠水してしまい、住民は大変であると思っていてその考えは変わらない。そんなところに霞堤を作ることですさらに被害を大きくしないか？と考える。霞堤なのことをもっと深く知りたいと思う。
- ・ 自然を守りながら、地域の住環境に出来るだけ役立つよう工夫していく。
- ・ 益々勢いを増す豪雨による都市の水害防止の観点から、先人の知恵の霞堤は必要であり、歴史文化的にも大切です。
- ・ 牟呂用水があまり流れていないことが、残念。昔、ザリガニとか獲ったりしてた。今思うと、真夏でも用水路があると涼しかった。

- ・ 自然だ霞堤だと言っても人間は人間の都合良く自然を改変してきた。部分的にビオトープやサンクチュアリを作ったとしても、それが自然と言えるか？
- ・ 牛川の渡しは全国的に珍しいと思うし これからも有り続けて欲しい 夏は牛川の渡りでイベントなどしてみてもどうか
- ・ 子どもの頃通っていた吉田方小学校で、【母なる川、豊川】と調べ学習をしたり、河川敷にコスモスを植えに行くなど、吉田方中学校では自分達で作ったカッターで豊川下りをしたので愛着があります。大人になってからは、子どもとしじみ狩りをしたり、散歩をしたりと身近に自然に触れ合える嬉しい場所です。
- ・ 護岸のゴミ拾いなどボランティア活動をしたい
- ・ 20年近く前の台風、洪水で江島町の豊川沿いの”豊川市いこいの広場”の物的な損害（ネットの倒壊や木々の荒廃）が発生して長い年月そのままに放置されていたのを見ていたので、新たに遊水地を増設する際には設備はシンプルかつ災害による損害が発生したとしても復旧が容易な方が総合的に良いと思います。
- ・ 霞堤の役割は知っていますが、生活する地域としては洪水の被害があり、早く閉じてほしい。遊水地は賛成するが住宅に被害が及ばない場所でなくてはならない。
- ・ 江島地区に居住しているため、霞堤については自分たちを守るのが目的ではないことに不安を感じるが、感じるが、先人たちの作った霞堤の目的を忘れ家を建てていることが悪いのか、現代に合わせて霞堤の在り方を考えていくべきなのか迷うところである。過去の災害被害を受けている地域は、過去の文献でも被害があるにも関わらず、被害を受けたあとに、文句や行政への要求が多いと感じる。
- ・ ダムができると霞堤を廃止すると聞いている
- ・ 豊橋市をはじめ愛知県は、あまりにも車中心の考え方に偏りすぎている。公共交通機関等を利用しながら、自然、景観、災害に強い街づくりを目指してほしい。
- ・ このような場所があれば健康維持に繋がるし、集客にも繋がっていいと思う。ただ、豊川沿いに駅があるところが限られると思う。公共交通機関で行くよりも車で行く事になるだろうから、車を多く停めれるようなスペースが必要。夏場、涼める建物も必要になってくる。
- ・ 子供の頃にしじみを採ったことある
- ・ 豊川だけで無く、柳生川、梅田川も同様に洪水対策と遊水地の対応が 必要と考えます。
- ・ 気象変動が激しい場合があるので、自然環境を保持しつつ、安全な暮らしを守る計画が大切だと思う。
- ・ 町内会防災役員、国交省河川モニターの経験から、流域住民の防災意識の向上と効果的な訓練の継続が重要と思う。遊水地の活用は大切だが、施設の維持管理も計画と予算を考えないとダメだ！
- ・ 23年豪雨は霞堤がなかった場合、被害が拡大したものと推測する。霞堤周辺の住民、農家の被害は報道も多く心が痛んだ。一方、霞堤によって特に豊川左岸の豊橋市の被害がどれだけ少なく済んだというような情報、PRはあまり見ない気がする
- ・ 防災という観点ではないが、他の川を見ると、豊川ももっと河川敷を、市民の憩いの場として利用、整備できないか、と思う。

- ・ 農家なのでまずは水害対策を重視 生活する上では大雨時の排水対策 大村にいるので豊川と共に生活している
- ・ 人工的な景観は嫌いなため、ヨーロッパの田舎の様な景観作りに、治水こ
- ・ ごみなどの不法投棄が多くなってきたと思う。 公園や河原などバーベキューの後始末が悪く自然を大事にして欲しい。
- ・ 霞堤の意味を住民が理解し、そもそも水がつかれる場所だということを認識したうえで生活してほしい。 霞堤が水に浸かるのは当たり前の事なので、水害を受けた事に文句を言うことが筋違いだということを理解しなければならないと思う。
- ・ 周辺の太陽光発電は景観が悪いので止めて欲しい。
- ・ 実は、豊川流域と言っても、豊川市内では影響を受けるのは限られた地域になるはず。 有意義に利用するとしたら、その方向性を示した方がいいと思います。
- ・ ゲリラ豪雨や台風などの大雨が降っても水害が起これば安心して住める場であってほしい
- ・ 人々が楽しく集まり、安全な河川、水辺を作って欲しい！
- ・ 洪水が起きないように川底を掘るとかして欲しい
- ・ 一昔前のように、子供達が川遊びできる環境に戻ったらいいな と強く思いがあります。
- ・ 水の確保が本当に大事だし、前もっての初動、対応がとても重要だ。
- ・ 遊水池の整備を強く希望する。
- ・ 船を出して助けをしたことを思い出します。カワセミが飛んでいたり、キジもやってきます。綺麗な自然はそのままに水は、来ないようにできたらいいです。
- ・ 思い立って自主的に河川敷周辺を祇園祭の後に掃除したことがあるが、打ち上げ花火の残骸がよく飛び散っていたことがある。歴史や文化は盛り上げながら大事にしつつ、この辺りの後処理は豊川沿いの保全に繋がるので、ぜひ両立させる施設なりイベントを期待
- ・ 自然と歴史を残すことの大切さをもっと多くの人に知っていただきたい！ 緑（植物）を減らさないで欲しい！ コンクリート、アスファルト、へんてこりんな舗装などで地表を熱くしないで欲しい！ 技科大の学生さんのチカラで豊橋のとよがわの自然を守って欲しい… よろしくお願ひします。昔はとよがわに魚がたくさん居て、川海老、うなぎ、しじみ、ハゼ…良くとって食べていました そんな とよがわ に戻ったら嬉しいですね 水害の1番大きな原因は… 田んぼ・畑が少なくなり… そこをアスファルトなど水が浸透しない物で覆ってしまったから、一気に至る所で水が溢れて居る！ 田んぼ・畑・空地が自然の避水地だったのを壊したから…もうこれ以上自然を壊さないでなるべく地面に水が自然に浸透していくような仕組み…表面に草・木々が有れば… よろしくお願ひします 自然を緑を守ってください。
- ・ 今回浸水した箇所には高校があるが災害時の拠点にもならないので考え直すべき。地域の人間は浸水した箇所は昔から浸水しやすいことを把握しているものの行政は具体的な対策に結びついていないと感じる
- ・ 豊川とは、共存共栄出来ることが大事だと思います。
- ・ 霞堤は大変貴重な歴史遺産(レガシー)です。恒久的な保存活動を行い、後世に伝えて行く活動が重要と考えます。
- ・ 霞堤の土地所有者の意向も重要

- ・ 豊川放水路ができる前は、台風や大雨で床下浸水があった経験があったがその後無くなった。今、そのような地域が有るかわからないが、あればその対策を第一優先で、かつ通常時は憩いの場になる用進めてほしい。
- ・ 津波や、豪雨が起きた時に、それに耐え得る堤防であることを望みます。
- ・ 元々生物系のため水辺環境にはよく触れてきたが、一般の方の興味関心が大分薄れてきているとつくづく感じる。子供のうちから外で学習をするということが大切で、どうしたら興味を持ってもらえるのか最近よく考えるようになった。教える機会があればお手伝いしたい……とは常に思っている。かくいう私も、このアンケートを回答する中で地域の防災面の機能に関しては知らないことが多く反省した。
- ・ 霞堤締め切りの早期実現
- ・ 清らかな水質
- ・ 時々、愛犬との散歩で利用します。でも、ゴミの不当投棄 犬？などの放置ウンチ BBQ 後の残骸 放置…など。出来る事ならばある程度の罰則規定も必要なのかも？
- ・ 自然環境を感じる空間
- ・ 豊川の歴史的な氾濫の史実を調べて現在の温暖化気候変動に合わせる必要があるではないか？ 豊かな豊川の流れる流域都市への財産である。
- ・ 豪雨の際とても田畑に被害あり大変だった！被害数値にはならないものが多い！精神面で辛かった！屋敷が災害に遭わないように、自費で土を盛り屋敷や畠遠高くしている！行政は霞堤地域へ固定資産とうの軽減や建物の建設時補助童して欲しい！このままでは若い人達（子供達）は住んでくれない！
- ・ 豊川河川整備計画の計画高水位、流量計算等の管理上の問題点が多数あり、見直しが必要な状況です。 豊川放水路分流堰および上流の利水施設が洪水を引き起こす一因となっています。 潮位と放水路分流堰の操作規則を見直さなければ、決壊が起こります。 この問題を豊川流域のみんなで考える必要があると思っています。
- ・ 人が集まる場所なのでトイレは、必要不可欠
- ・ 豊川放水路が出来てからは豊川の氾濫はないという言葉聞き、霞堤の事を知らずにこの土地に住み出しました。霞堤の事を知ったのは、過去にもこういったアンケートがあって情報を頂いて知りました。 20年住む中で、過去に2、3度氾濫の不安を感じる機会がありました。 前回の下条で被害のあった大雨の時は、幸い自宅は無事でしたが、すぐ近くが水没していた為、どの道なら自宅に帰れるのかなど、とても考え不安にはなりました。また、下条地区は下条小学校が避難場所ですが、氾濫する事があったら、校舎内の三階以上しかないのでは、とも思います。 そういった時に、早めの避難をすれば(早めの避難をしないと、道が水没する為動けない)隣の玉川地区や、別の所での受け入れをしていただけるのか、などと考える事はあります。 治水公園の整備などの情報がありましたが、特に霞堤のある地区や、大雨で水没する地域を救う策になるのなら、是非、整備をお願いしたいと思います。 自然豊かで景観も良く、愛着ある土地なので、安心して住み続けられると嬉しいと思います。
- ・ 台風など増水した時は怖いぐらいなので水辺の周りの環境は今も役割を果たしてくれていると思うのだが、最近は異常気象などで心配な側面もある

- ・ 散歩、ジョギングなどの歩行者の安全確保のため堤防道路への遊歩道整備を進めてほしい。
- ・ 育った地域も豊川沿い。 豊川の夕焼けを世界一美しいと思いながら暮らして来ました。 途中豊橋を離れましたが、 やはり帰るたびに豊川の夕陽に感動しました。 亡くなった母は、多分東海道本線のなかでだとおもいますが、 こんなにたっぷりと水のある川は他にない。豊川は名の通り「豊かな川だ」とずっと言っておりました。 いつまでもこの姿を守りたいと心から思っています。
- ・ 市役所周辺など、水辺に近い場所がよく整備されているとは感じられない。岡崎市の乙川周辺のように綺麗に整備されれば、良いと思う。
- ・ とにかく洪水が起こらないようにしてあげてほしい
- ・ 水捌けが良くないのですぐに田んぼの用水とか水が溢れて子どもや高齢者などが危ない この前の大雨の時に小坂井の付近で帰宅途中で車が水没してしまい本当に困りました それ以来雨が降ると怖くなります
- ・ 何十年に一回の豪雨で浸水する場所をあらかじめ設定し、日々、人々が暮らす空間を守る事は重要です。浸水するかもしれない土地を普段どのように使用するのか？はもっと重要な感じがします。より良い地域になるよう願っています。
- ・ ゴミのない緑豊かな環境にして欲しい。もっと桜を植えてほしい。
- ・ 霞堤はいらない
- ・ 自然はコントロール出来ないもの、想定を超える事は必ずある、という認識を広めていくことは大事と思っている。
- ・ ゴミ掃除が大変そう
- ・ 放水路をもっと綺麗に管理して欲しい あまり近づきたくないイメージ
- ・ 遊水地は必要だと思われるが、費用の捻出は要ではない。クラウドファンディング他周知を集めてほしい。
- ・ ここ数年の環境の変化は大変深刻な状況だと感じています。高温、豪雨など異常気象が毎年起こり、もはや異常が通常になりつつあると思っています。河川の整備はもちろん必要な事だと思えます。しかし、気象の変化に対する根本的な解決にアプローチすることが最重要事項だとも感じています。おそらく今やっている整備事業など今後数十年でまた更新しなければいけないような事態になるような気がしています。文明の発達、経済の発展が重要なのはわかりますが、自然災害にはかきません。本気で環境破壊に対策できる実行力のある地球規模の取り組みに期待します。毎年のように洪水がある、高温で熱中症になる、そもそもこんな世の中では何をしようが生活ができなくなると思います。ぜひ頑張ってください。応援しています。
- ・ 両岸の地域が平等に整備されるべき
- ・ 水辺にいる鳥や昆虫を大切にしたいと思う。
- ・ いつも散歩していて、せっかくの山や川の景観を損なうことがないよう、橋に落ちているゴミを拾っている。
- ・ 設楽ダムが早期に完成し、治水と利水の調節がされ、地域の風水害がなくなる（低減する）ことを願っております
- ・ 金色島の未整備をそのままにせず最後まで完成させる。
- ・ 霞堤など一部の人の負担させているのが心苦しい 助かっていると軽々しく言えない

- ・ 洪水・浸水対策を早急を実施してほしいです。よろしくをお願いします。
- ・ 水みちは中々人間の考えることだけでは改善できません。きちんと昔の地図を見た上、自然の怖さをきちんと知って治水工事を進めてもらいたいです
- ・ 豊川は水がきれいなので是非守りたい。
- ・ 災害時霞堤がどうなったか情報を流してほしい。写真撮影をしてわかりやすくをお願いします。
- ・ 2023年の洪水では農業施設が、多大な被害を受けました。この地域が犠牲になっているは明らかです。
- ・ 七夕豪雨で家が水に浸かりました
- ・ 霞堤を締め切る事で、それまで助かっていた氾濫被害が懸念される。霞堤の代替機能が必要と感じる。
- ・ 実家が霞堤の地区に該当しています。大雨が降る度に浸水のしんぱいが絶えません。
- ・ やはり洪水対策が最重要だと思います。以前に1級河川のそばに住んでいた時に洪水に会い、枝などの撤去の復旧作業を経験したことがあります。その河川名は乙川です。読み方はおとがわです。岡崎城近くでは整備されていて、桜祭り、花火大会が毎年開催されており、観客で賑わっています。いわゆる乙川河川敷です。以上
- ・ 自分は、以前、下地町に住んで、大雨で、避難命令出たり、水の被害の怖さを、感じた。昭和48年に下地で大火災発生。消防車は、水不足で消火活動不可能も。ポンプを繋ぎ合わせて豊川から、給水して消火活動を見たら、豊川の怖さ、有難さを、知っている。
- ・ 遊水池を整備して市民がくつろぎ、イベントやスポーツに利用出来る施設をつかることは良い案だと思う。
- ・ 川の流れを妨げる竹藪や雑木林を適切に整備する事が必要である。
- ・ クリーン作戦に、何回か参加したが不法投棄のゴミが多く悲しい。
- ・ 子供の頃、父が豊川で釣り等をしていました。今はあまり見かけなくなりましたが魚はいるんでしょうか？
- ・ 消防団で大型台風が来ると出動していた。町内の被害は大きく霞堤を早く閉じてほしい。
- ・ 自然は、大切だと思うが…人が生活するには、必要な物もあると、思いますがそのなかで生きている魚や鳥、植物達などを脅かさないやり方で大切にしていく。
- ・ 昨今の異常気象で、ゲリラ豪雨、道路の冠水など、今まで経験したことのない怖さを感じました豊川流域の豊かな自然はそのままに、誰もが安心して暮らせるような設備や環境を整えば幸いです
- ・ 豊川放水路がある前提で洪水について検討すべき。アンケートの選択肢がわかりづらい
- ・ 2022年9月の大雨の時に豊橋市として流れ着いた流木を豊川に捨てていた。530発祥の豊橋市民として残念に思いました。
- ・ 水のきれいさ
- ・ 想定以上の豪雨が、多発している為、霞堤は是非残して欲しい
- ・ 霞堤から豊川の水が差してくる 霞堤締め切りしているが油断禁物 まだまだ油断出来ません
- ・ 近くの橋の上から生活ゴミを定期的に棄てておる方が居る。外国人です。録画して注意 取り締まって欲しい・大至急 三上橋です。

- ・ 渡り鳥が寛ぐ場所として、また自然に触れることが出来る空間として、犬や人の散歩、ジョギングなどを通した人々の交流の場としてもこのままそこにあってほしい。
- ・ 令和5年の水害で 甚大な被害を受けた地区に住んでいます 幸い 人的被害はありませんでしたが、今後は 前回以上の水害になった場合のことを想定しておかなくては、と感じています しかしこの町内では高齢者が多く、その方たちは「昔は水害が度々あったが、豊川放水路ができてからは大きな被害は無くなった」と信じ込んでいるところがあるので、それを考え直してもらえるような啓発も含めて今後の対策をお願いしたいです
- ・ 自然を大事にしながら、防災対策をして欲しい
- ・ 霞堤の農家が、水が溢れたあとは肥料が不要になると言っていた
- ・ 危険な場所(流れ、水深)、生き物、植物を伝える事、川遊びの楽しさを伝える。自然だから暴れることもあるが、川が見える自然は美しい。
- ・ 公共施設は美しさ、便利さより長期に渡り機能や目的が維持できるような設計が重要だと考えます。 河川敷や市内の公園等には残念な状態の場所が多く見当たります。 今の公共施設維持に使われている費用を解析し、従来の都市計画を省みる事が更に大切ではないでしょうか。
- ・ 自然を守ることが大切だと思う
- ・ 豊川で水遊びをしたり川エビをとったりして遊んだ経験があります。川が近くにある暮らしはステキだと思います。
- ・ 家が霞堤にあり23年6月の豪雨ではじめてあのような大きな浸水を経験し避難所に避難した。堤防の整備が計画されているが霞堤がふさがれるわけではないため、今後も心配である。霞堤がしめれないということは治水機能として必要であるということなので、しめることができるよう霞堤内の住民が安心して暮らせる遊水地などほかにできるのであればそうしてほしいと思う 国交省の説明では今の小堤防の計画はもう変更できないといわれた
- ・ 災害は心配ではあるが、自然とはそういうものだと思う。過剰な災害対策より、豊川や水辺空間の自然環境に配慮して、子どもたちに多様な生態系や自然とのふれあいの大切さを感じて欲しいと思う。
- ・ 豊川と朝倉川の合流点にある牛川霞には、鶴見川遊水池のようなスタジアム建設ができないかと。吉田城がある方に作るのではなく、豊橋市と国とが協議して進める事が理想であると思います。
- ・ 川辺に桜、菜の花などが多く、癒される景観を維持して欲しいと思います。
- ・ 2023年の洪水で浸水しなかった家を買いました。浸水しなかった情報もネットで気軽に検索できるといいなと思います。
- ・ 自然があるのはありがたいけど、水害で避難区域は全く意味がない。河川事故もあるので、遊水などバーベキューなどやめてほしい
- ・ 霞堤で育ちました。雨のたび浸水しました。川幅も広くなり今更大金かけて作らなくて良い。
- ・ 川沿いをもう少し明るくしてくれたらいいと思う。暗くなると怖くて近寄れない。
- ・ 環境や生態系の保存
- ・ 清流であってほしい。
- ・ 洪水対策で、あえて川の水を入れ込むのは付近に住むものとしてはとても困ります。 そのおかげで下流地域の洪水対策になるとしても、こちらは災害となり保証等も大してないのですから

- ・ 上流の水は流れの中途にて遊ばせ、地下水を豊富にしてもらい、直下に三河湾へ流し来ませないことです。下流域は洪水寸前ですよ。都市計画をしっかりと立ててくださいね。
- ・ 沖野の田畑を守っていきたい。工場や事務所、住宅から学校、グラウンドまでやりたい放題。そのうち宅地になりそう。豊橋の原風景として残してほしい。
- ・ 家が北島ですが排水がおいつかず道路かかんすいします 下水道のしよりをもっとよくして欲しい 宇連ダムが雨が少ないとすぐ水不足になりますが流入河川がないから当然かと しっかりしたダムつくるべき
- ・ 霞堤に知り合いがいるので洪水が起きると怖いという話は聞きました 私は朝倉川の上流に住んでいるのですが野鳥が多くとても癒されます 整備するのであれば自然を生かしたものであればいいと思います
- ・ 治水と環境整備は重要であるが、維持・管理を過負荷なく継続できるしくみを同時か事前に進めるべき。
- ・ 近年豪雨の頻度が上がってきており、これに伴う被害も多く出ている。被害を最小限に抑える為の治水が必須。
- ・ 自然豊かな河川として維持される事を強く望みます
- ・ 線状降水帯の時に 川のカメラなどみたが よくわからず 夜は 状況がわからないことがすごく不便だった 豊橋市全体だと 細かい情報がいらない たまたま近所の人がLINEをくれたので 夜9時くらいになってから 車を車庫から移動したから 助かった 道からくる水は 雨がやんでから 静かに増えていき 経験がないので わからなかったが 間に合ってよかった バイクは 水につかってしまった 地域の人がこの道は通らないとか リアルタイムに 知らせが入ると安心 Xなどは 普段使わないので 地域に特化したものがあると安心だと思う たくさんの車が 次の日 置き去りにになっていた ちなみに下条校区です
- ・ 水不足解消
- ・ 田んぼがどんどん少なくなって、ますます洪水になると思う。田んぼを減らさないで、有効活用が必要。
- ・ 自然を感じることでできる事は素晴らしいが、やはり実務の治水力が1番重要だと思います。
- ・ 山から海へ 豊川を大切に守り 育てたい
- ・ 災害規模が以前より大きくなっており、従来の考え方が通用しなくなるのが怖い。特に大雨災害。
- ・ 身近に感じて貰うイベントや遊べる環境が必要だと思います。
- ・ 強い雨が降るたびに堤防が切れて大水が襲ってくると祖父母から脅かされて今まで生きてきました。街の人たちを守るためにこの地域は犠牲になっているのだと。なのに洪水や停電など、復旧作業は後回し。頑張って作った作物が水浸しで全滅しても文句も言わず耐えてきたという祖父母の言葉が胸に刺さります。田舎の人たちは、穏やかでのんびりしてて腹を立てないとも思っているのでしょうか。あの大雨の日、家の2階から見たいつもの風景はすべてが水に覆われていました。畑も田んぼも道路もすべて同じ色でした。家中の穴という穴からゴボゴボと音がして下水の逆流に恐怖したことを忘れません。遊水地ができてくれたら、こんな思いも少しは軽くなるのでしょうか。
- ・ 豊川水系は矢作川水系に比べ流域面積が少なく、ダムの貯水量ははるかに少ない。よって濁水確率が高い。しかし水害は多い。設楽ダムの完成に合わせ周辺整備を期待したい。

- ・ 設楽ダム の 早期完成運用 と、霞堤 の 閉鎖 を 早急 に 行っ て 欲 し い。また 設楽ダム 完成前 に も 豪雨 に よる 霞堤 運用 可能性 など 判明 次第、早急 に 連絡 し て 欲 し い
- ・ 掃除 が 大切
- ・ 豊橋 は 昭和 恐慌 後、初代 豊橋 町長 の 大口 氏 が 防疫 目的（今 で 言う 厚労 省 予算）で 下水道 整備 事業 を 始め、全国 で も 非常 に 早い 段階 で 豊橋 駅 から 豊川 の 範囲 は 整備 さ れ て おり ます。川 沿い の 海拔 が 低い 地域 で も 水没 リスク の 有無 は 既に 明らか に なっ て おり ます。人口 減少 で 公共 事業 を 推し 進め る よ り も、リスク の 有る 地域 に 居住 し 希望 す る 人々 に 安全 な 場所 に 住め る 施策 を 推進 し た 方 が 国費 等 負担 も 少ない と 思っ ます し、豊橋 の 実情 から すれ ば 現実 的 である か と 思っ ます。浜松 市 南区（津波 リスク が 高い エリア）は、日本 人 は 抜け、不動産 価格 は 暴落 し 外国 人 ばかり と なっ て おり ます。何 十年 かけ て 対策 す る よ り も、危な くない 地域 に 引越 す 事 が 現実 解 だ と 思っ ます。
- ・ 被害 に あっ た 人 の 補償 が 必要 だ と 思っ う 一番 に 補償 を 考え た 上 で こ の よう な 活かし 方 を 考え る べき。何 を や る に も お金 が かか る の で。お金 を かけ る 場所 を 考え て ほ し い。
- ・ 子供 の 頃は、よく 家族 で 川遊 び に 行 き ました。今 では、様子 が す っ か り 変わ っ て し ま い、遊べ る 場所 で は なくな っ て し ま い 残念 に 感じ ます。
- ・ 治水 は と て も 重要 だ と 思っ う。治水 が 具体 的 に どう い う 設備 で 行 わ れ て い る か 知ら ない の で、楽しみ なが ら 知 る こ と が でき る 動画 や マンガ が ある と い い と 思っ う。
- ・ 豊川 に 隣接 し て い る 所 に 住ん で い て、堤防 内 に 農地 が あり、そこ で 農業 を 営ん で い ます。霞堤 が ある こ と に よ り デメリ ッ ト を 感じ て い る 方 も い る か と 思っ ます が、どこ か で 水 を 逃さ ない と 豊川 の メイン 堤防 に ダメ ージ が 蓄積 し、いつ か 決壊 し、と て も 大き な 被害 に な る こ と は 容易 に 想像 出来 ます の で、未来 に 向け て の 安全 を 優先 し て も ら え る と 嬉し く 思っ ます。
- ・ 霞堤 の ある 地域 で す 災害 が 発生 し た 時 災害 保証 が 出来 て い ない 非常 に 残念 で す
- ・ 水質 が い い の で 綺麗 な 水 の まま で あ っ て 欲 し い
- ・ 水 は、と て も 大事 な もの。ゴミ だ かけ の 用水 と か 道 と か 川 に 流 れ て 行 く と 思っ う と 悲し い で す 自分 に 何か でき る か な と、思っ て ゴミ 拾い を 散歩 の 時 に し て い ます 物 を 育て る 水 は、人間 も 生物 も 食べ 物 も 育て る の に 大切 で す ね。何 も 知ら ず に 生活 し て い ます。ダメ で す ね。頑張 っ て、将来 の た め に 頑張 っ て くだ さ い。変 な 回答 か も し れ ませ ん が、よろ し く お願 い し ます
- ・ 洪水 被害 が あ っ た 地域 は 国道 の 高架 が 進め ら れ て い ます。遊水 地 で 対応 可能 で あ れ ば 税金 を 使 い 早急 に 動く 必要 が あ っ た の で し ょ う か？ 行政 が 市民 の 事 を 思い、賢い 選択 を し て 欲 し い と 思っ て い ます。
- ・ 霞堤 が ある が ゆえ に 被害 を 受け た 方 が い る な ら、行政 の 補償 が も っ と 必要 だ と 思っ う
- ・ 霞堤 が ある こ と で、大雨 の 際、毎 回 浸水 す る 可能性 が あり、恐怖 感 が 強 い で す。是非、霞堤 を なく し て ほ し い で す。
- ・ 山 と 川 は 残す べき 地域 の 宝 で す。中央 構造 線 上 を 流 れ る 豊川 は と て も 魅力 的 で す。
- ・ 豊川 河川 敷 に ゴミ 捨て が 多い。
- ・ 霞堤 の 整備 が 急務。
- ・ 住ん で い る 地域 である の で 大切 に し て い き た い し 後世 に も そ う 感じ て ほ し い で す。
- ・ 緑 が 大切 だ と 思っ う

- ・ 雑草が凄い。朝倉川沿いに住んでるが大雨がふると最近道路ギリギリまで川の水が来るときがあるので怖い。
- ・ 自然の手入れか大切だと思います。
- ・ 散歩コースで自然の癒しを感じられる空間です、新たに施設（構造物）を作る際は景観に十分配慮して欲しい。
- ・ 豊川の生態系を守りたいです。後は健康の為歩く歩道が欲しいです。
- ・ 洪水も濁水も考えられると良いのだが…
- ・ 生き物と人が一緒に暮らしていけるような空間がいいと思います。
- ・ 霞堤で浸水被害が出る地域があることは事実なので、霞堤に代わる治水整備に早期に取り組んでいただきたい。
- ・ エコトーンなどを多く設け、生態系に優しい水辺空間ができていけば良いと思います。
- ・ ジョギングする場所として心が安らぐ場所として利用しているので、応援しています。
- ・ 豊川は自然豊かなところが好きなので堤防の整備も自然を感じられる場所を作っていただきたいです
- ・ 霞堤は昔の治水手法、現在でも洪水に不安を持つ住民の方々の為に霞堤を閉めることを可能にする治水手法先ずは実施して欲しい。
- ・ 雑草の定期的な除草及びゴミ清掃により管理されている水辺を期待します
- ・ 川辺から聞こえるバイクの音が非常に騒がしい
- ・ 豊橋市民にとって豊川は身近な河川、ずっと綺麗な安全な川であってほしいです
- ・ 霞堤については、今は閉鎖されていますが、私が住んでいる地区が犠牲になることで他の地区の被害を抑えるやり方であったため、効果があったとは思いますが、複雑な気持ちがあります。
- ・ 自然は大切にすべきですが、もっと市民が豊川を身近に感じられるような施設やカフェや公園がほしい。牛川の渡しの辺りの景観はよいと思います
- ・ 治水安全度が最も重要だと思う。続けて、霞堤により被害を受けている人達が被害を受けなくなる様な対策が必要と感じる。その為に、遊水池や放水路を整備し、豊川本川の水位低下を図る必要がある。霞堤については歴史が古く、当時の土地利用と現在の土地利用では大きく異なるため、過去の経緯に固執する事なく、時代に合わせた河川整備が必要であると感じる。
- ・ 水不足対策と設備の安全性を大切にしたいと思う。蛍が見られる所はこれからも環境を大切にしたい。
- ・ 豊川と豊川放水路との間にある江川のすぐ近くに住んでいます。豪雨になると水位が溢れるストレスになったり、以前は溢れた事があり、豪雨になった時はハラハラで生活しています。最近、線状降水帯などが増えて危険性が高まっていますので、対策を講じて頂きたいです。
- ・ 川床の浚渫が必要な時期か来ていると思います。氾濫防止のため
- ・ 豊川には中央構造線も関係していると思うので地理学からみても貴重な河川であると言えます。未来にも綺麗な水を残せるよう環境破壊(汚水が流れる)をしないような心がけが必要かと思っています。研究頑張って下さい。
- ・ 遊水地区に暮らしている身としては、どうしていいのか不安しかない。水辺空間もあったほうがいいとは思いますが、安心して暮らせる環境にしてほしい

- ・ 洪水、津波などがあった時 安全が守られるようよろしくお願いいたします。 調査、研究ありがとうございます。
- ・ 霞堤など今回初めて知ったので、どの程度洪水被害の軽減に役立っているのか、どのような問題があるのか等わからず回答が難しいところがありました。 豊川周辺は手付かずの感じで自然が豊かに残っていると思うので、開発の際は災害防止と自然の保全に留意すべきと思います。
- ・ 危険な動物がいない安全で安らぐ場所である事が望ましい
- ・ 洪水対策を確実にこなって欲しい。
- ・ 温暖化現象により豪雨災害のリスクは上がると思います。 治水は安心して暮らすために重要な課題と考えます
- ・ 佐奈川の桜並木は地元の宝です。美しく維持されることを希望します。
- ・ 気にしなければ気付かない色々な種類の野鳥がたくさんいて、とてもいい環境なんだと改めて思った。 水はとても大事だけれど、同時にとても怖いものでもある。 便利になるのもありがたいけれど、多種多様な生き物が共存できる、人間最優先ではない水辺空間が理想（簡単ではないだろうけれど）
- ・ とにかくどこかが犠牲になっているのは駄目何より先に改善すべき
- ・ 遊水地の位置づけのない霞堤を閉め本堤にする。下流域の洪水の低減のために霞堤を残すことは霞堤地区の住人の生命と財産をおびやかしたままになる。現在まで洪水による住宅、農作物、車などに被害があっても何の補償もされてない。下流地域の軽減のため本堤を造らないのならばせめて補償くらいはすべきと考える。霞堤の解消を切望する。
- ・ 安全と美しい景観を守ることの両立が大切と考えている。豊かな水資源を守るとともに、生態系においては外来種の大量の繁殖から在来種を守るという視点も大事にしていきたい。
- ・ 豊川に限らず目につくのが、廃船がそのままあるのが気になります。船を所有するのに届け出するはずなので、管理が行き届いてないのではないかと思います。
- ・ 災害対策は必須。洪水対策についても、論理的な数値根拠を明示した方策を練ってほしい。
- ・ 橋が少ないし狭くていつも渋滞している。大雨が降ると浸水して孤立する。 駐車場がないので水辺までいく機会がない。
- ・ 知らない・わからない状態で回答した箇所が複数あります。専門家の話を聞けば変わる部分もあると思います。市民の意見も大事のように、複数の専門家による見解も重要だと思います。私たちの住む場所をさらに住みやすいように検討して下さってありがとうございます。今度ともよろしくお願いします。
- ・ 昔は網を持って小魚取りができたが今は水辺までに草や木が生えて行けるところが少なくなりました
- ・ 意識調査をありがとうございます。アンケートに答えることで、今の自分の知識や意識がどのようなものなのかを知ることができました。 豊川や、そこにつながる川の整備は必要だと思うけれど、自然な形も残してほしいなと思います。朝倉川のパチンコ店沿いのあたりは、災害の影響がないのならば、そのままの形で、そういうエリアもあっていいと思います。 2023年の洪水の時は、乗小路トンネルのある幹線道路のあたりで冠水したところもあり、用水路も、間もなくあふれるのではないかと心配になるほどでした。用水路や川が溢れることは、本当に怖いので、そこは安全に過ご

せるように、災害に対応できる環境は作っていただきたいと思っています。「今後の治水と暮らしのあり方を考えるための基礎資料」として、声を集めてくださり、また研究をありがとうございます。よろしくお願いします！

- ・ 数十年前と比べると以前見かけた生物を見かけなくなったので生物多様性の観点から環境整備をしてほしいと思う。
- ・ 幼少期に比べて魚が釣れなく、しじみも減少しています。水辺に住む生き物が戻ってくる環境を望みます。
- ・ 霞堤周辺に住む住民は、豊川下流を守る為の捨て石となっているが、犠牲に見合う恩恵は何もない。早く堤防を全て閉じてもらいたい。
- ・ 川底の上昇が気になります。
- ・ 生態系を大事にして欲しい
- ・ 30年ほど前は小学校の全校行事として豊川での活動があった。コロナ禍の影響や学校の教員の多忙もあって、学校活動はスリム化が進んでいる。今後、学校地域協働活動などを通して、学校が担っていた役割を地域社会一体になって取り組んでいく必要があると感じる。
- ・ 人が住む場所や人工物を置く場所、と自然を分けなければいけないと思う。自然は自然ですので人間は太刀打ちできません。。人と距離を置かなければいけないです。
- ・ 豊橋で生まれ育ち37年になるが、牛川の渡しに数年前まで乗ったことがなかった。いざ乗ってみると、現代的な風景（ビルやマンションなど）は目線が低くなるため見えず、地域の山々と川縁の草木が見えるのみだった。とても静かで、昭和初期までの風景を垣間見れた気がした。豊橋を牛耳っている商工会議所をはじめとする団塊世代の方々は、バブル前後の感覚から離れられないから、イベントやらキッチンカーやらを集めて賑やかになれば良いみたいな感じで嫌気がさす。豊橋には素晴らしい自然や風景があるのに。豊川もアリーナを中心に再開発するという流れになったらと思うとゾッとする。530の街なんだから、自然に我々が生かされていることに気づいて、まちづくりに活かしてほしい。
- ・ 豊川の治水対策、霞堤の存在やその成り立ちや歴史、霞堤以外の治水対策について調べたことがあります。霞堤で守られる人々や暮らしがある一方で、霞堤周辺の方達は洪水により被害を被ります。平等な治水対策が必要であると考えます。A.Bの選択をする設問が正しく答えられたか自信がありません。申し訳ありません。
- ・ 一部の地域だけに水害負担になる霞堤は封鎖してほしい
- ・ 自宅のすぐ裏が豊川の堤防で子供の時によくあそんでいました。コロナの時には一年生になったばかりの息子と毎日砂遊びをしていました。30年前に比べると、堤防の補強がされた後から潮の流れが変わってしまったのか、砂の部分はかなりへってしまい、大きな岩はなくなり、大きめの石がごろごろとして、牡蠣の殻が多く目立ち、子供が遊ぶと必ず手と足に切り傷ができてしまいほどです。生き物も私が子供の頃とはちがう気がします。昔の大潮だと砂がめいっぱいひろがっている風景が大好きでしたが、今は石ばかりで暗くみえて少しさみしく思います。遊水池？もしできたら子供たちはとてもよろこぶと思います。万場調整池などもまた活気が戻ったらいいなと思います。
- ・ 危険だからと言って、今の子供達は川などの水場で遊ぶ経験がほとんどないことが少し寂しい。

- ・ 洪水対策
- ・ 洪水に備えた対策については時々耳にしますが、地震が起きた場合の逆流が及ぼす影響について知りたいと思います。
- ・ 自然、生態系を守ることはとても大切なことだと思います。
- ・ 自然は大切だか、害がある動物の駆除を積極にして欲しい。それらが住みつき大繁殖は困る、川鵜、ムクドリ、ヌートリアなど。駆除にはとても消極的になっているのが不満です。
- ・ 家族参加型でイベントを企画して頂きたい。
- ・ 治水のための霞堤は、地域にとって大切なものだと思うが、霞堤があるために、浸水被害等の影響がある地域のかたを気の毒にも思ってしまう。自然も残しつつ、霞堤に依存しないような治水方法があるのであれば、霞堤に依存する治水方法は、今の時代には合っていないような気がしている。
- ・ 豊川の生き物が環境の元で生きて いつまでも行けるように
- ・ 沖野地区に農地を所有する者としては、霞堤防を閉じて欲しいが、その際遊水池が必要となるので、減歩率が高くなるが、将来を見据えた都市計画を進めて欲しい。
- ・ 早く霞堤をふさいで大雨の時に家やハウスに浸水しないようにしてほしい。
- ・ ぱっと思いつく限りではありますが、霞堤より下流域に公園機能を含めた遊水池の候補地があるようには思えませんでした かといって霞堤より上流に公園機能を含めた遊水池が必要とも思えませんでした 人口が縮小する中、今後は無理に霞堤地域に新規に住宅は建てず(地域を絞ってですが)治水機能に特化して活用してもらったほうが、コスト、維持管理、歴史的な意義など含めて腑に落ちる気持ちがしました